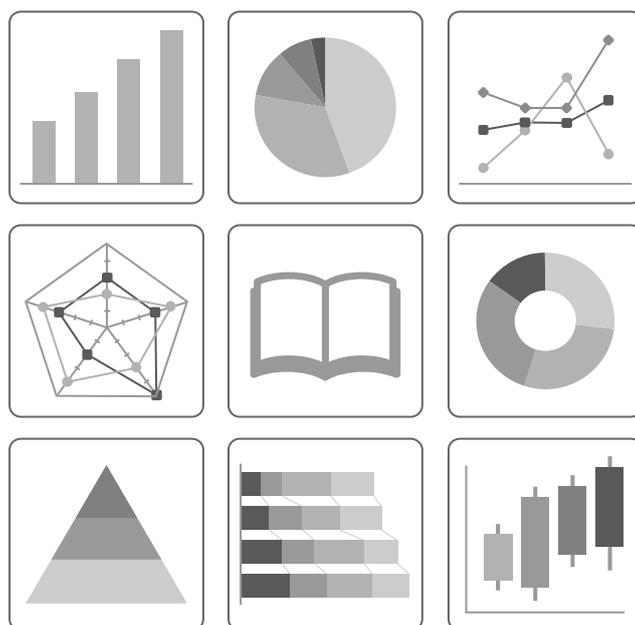


静岡県
令和3年度文化に関する意識調査
調査結果報告書



令和4年3月

静岡県

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1

II 調査結果

1	回答者属性.....	2
2	文化・芸術の鑑賞について	
	[問1]文化・芸術のメディアによる鑑賞機会及び内容.....	3
	[問2]文化・芸術のメディアによる鑑賞媒体.....	6
	[問3]文化・芸術の直接の鑑賞機会.....	7
	[問4]直接鑑賞しなかった理由.....	10
	[問5]鑑賞情報の入手媒体.....	12
	[問6]障害のある人の文化・芸術の鑑賞機会.....	14
	[問7]障害のある人の文化・芸術活動に理解を深めるために必要なこと.....	15
	[問8]新型コロナウイルス感染症発生に伴う鑑賞機会の変化.....	17
3	文化・芸術の活動について	
	[問9]文化・芸術の活動機会及び内容.....	18
	[問10]活動をしていない理由.....	21
	[問11]活動情報の入手媒体.....	23
	[問12]新型コロナウイルス感染症発生に伴う活動機会の変化.....	25
	[問13]今後したい文化・芸術活動.....	25
	[問14]文化・芸術活動による効果・影響.....	28
4	静岡県の文化施設等について	
	[問15]「静岡県立美術館」に期待すること.....	30
	[問16]「グランシップ」に期待すること.....	32
	[問17]「県立劇団SPAC」の認知度.....	34
	[問18]「SPAC」を鑑賞しない理由.....	36
	[問19]「静岡県舞台芸術公園」の認知度.....	37
	[問20]「SPAC」及び「静岡県舞台芸術公園」に期待すること.....	38
	[問21]「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の利用有無.....	39
	[問22]「ふじのくに地球環境史ミュージアム」へ行ったことがない理由.....	40

	[問 23] 「静岡県富士山世界遺産センター」の利用有無.....	41
	[問 24] 「静岡県富士山世界遺産センター」へ行ったことがない理由.....	42
5	静岡県の文化振興について	
	[問 25] 日常生活における文化・芸術の重要度.....	43
	[問 26] 文化に期待するもの.....	44
	[問 27] 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無.....	46
	[問 28] 地域の誇りだと感じられる文化資源の内容.....	48
	[問 29] 文化的環境の満足度.....	50
	[問 30] 文化的環境に満足していない理由.....	51
	[問 31] 文化的環境の満足度向上のために必要なこと.....	53
	[問 32] 子どもへの文化・芸術の提供.....	55
	[問 33] 災害時における文化・芸術の役割.....	57
	[問 34] 文化・芸術振興のために県へ期待すること.....	59
	[問 35] 文化・芸術に対する支援活動の参加有無及び内容.....	61
	[問 36] 文化・芸術に対する支援活動の参加理由.....	63
Ⅲ	質問票.....	65

I 調査の概要

1 調査の目的

静岡県民が文化に関してどのように感じ、文化振興にどのような意見を持っているかを把握し、総合計画や文化振興基本計画の指標として活用するなど、文化振興施策へ反映させることを目的として、調査を実施するものです。

2 調査対象

静岡県内に居住する満 18 歳以上の男女

3 調査期間

令和 3 年 8 月 20 日から令和 3 年 8 月 23 日

4 調査方法

インターネットによる回答

5 回収状況

有効回答数
2,120 通

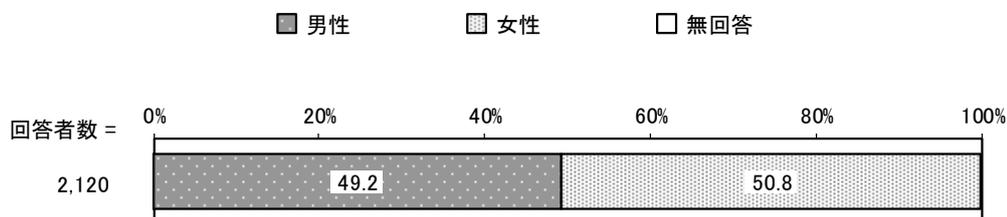
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

1 回答者属性

性別



年代・地域

(単位:人)

年代 地域	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	計
	東部	114	118	117	119	123	114
中部	113	121	117	120	119	119	709
西部	118	115	117	121	120	115	706
合計	345	354	351	360	362	348	2,120

【東部 (11 市 9 町)】

熱海市、伊東市、下田市、沼津市、三島市、伊豆の国市、伊豆市、御殿場市、裾野市、富士市、富士宮市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、清水町、小山町

【中部 (5 市 2 町)】

静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町

【西部 (7 市 1 町)】

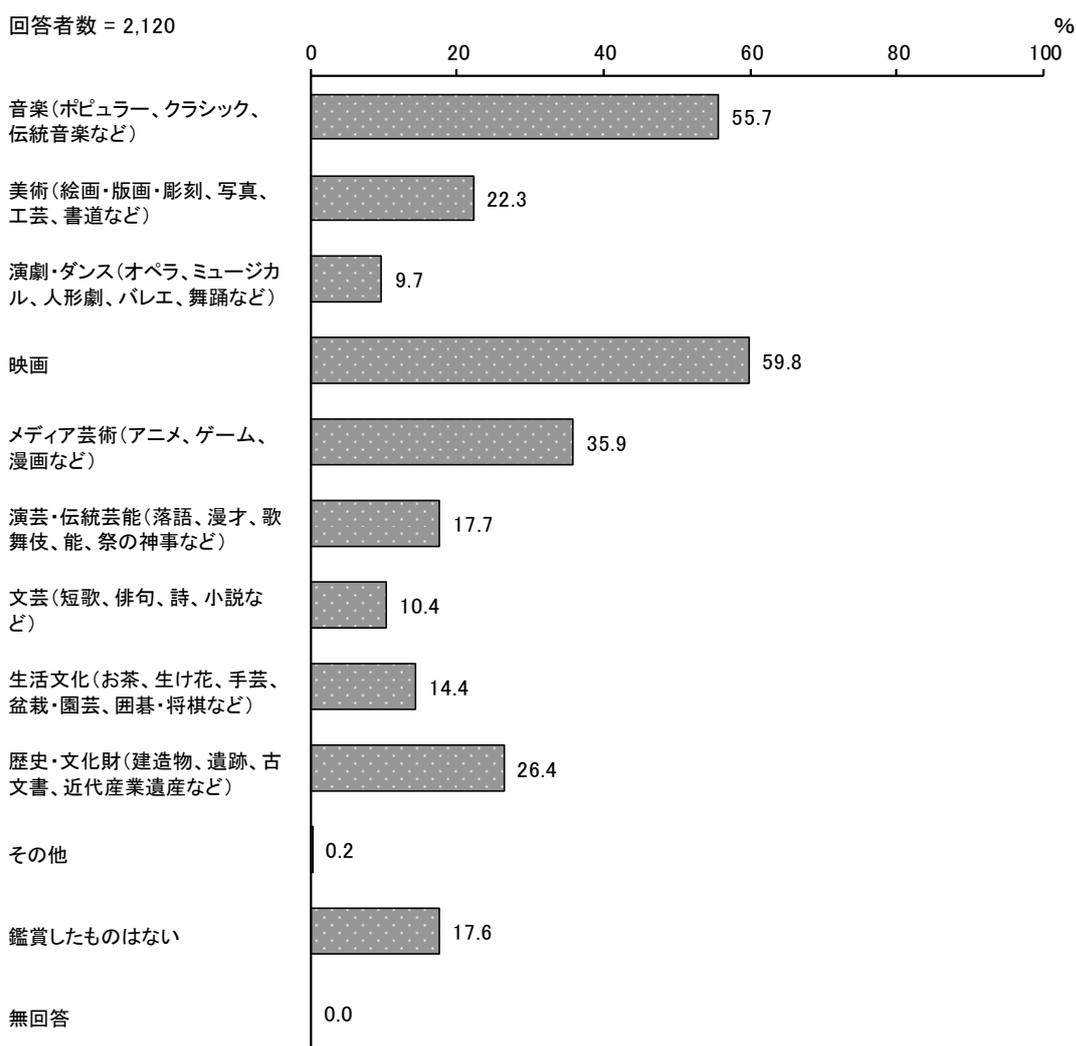
掛川市、菊川市、御前崎市、袋井市、磐田市、浜松市、湖西市、森町

2 文化・芸術の鑑賞について

問1 すべての方にお聞きします。あなたが昨年1年間に、メディア（テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等）を通して鑑賞した文化・芸術はどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「映画」の割合が59.8%と最も高く、次いで「音楽（ポピュラー、クラシック、伝統音楽など）」の割合が55.7%、「メディア芸術（アニメ、ゲーム、漫画など）」の割合が35.9%となっています。

なお、全体のうち、メディアを通して文化・芸術の『鑑賞をした人』の割合は82.4%となっています。



【経年比較】

前回調査と比べると、「メディア芸術」以外の項目で割合が減少しています。

単位：％

区分	平成30年度調査	令和3年度調査※
音楽	78.0	67.6(55.7)
美術	41.2	27.1(22.3)
演劇・ダンス	15.1	11.8(9.7)
映画	75.1	72.6(59.8)
メディア芸術	37.6	43.6(35.9)
演芸・伝統芸能	42.3	21.5(17.7)
文芸	22.5	12.7(10.4)
生活文化	28.5	17.5(14.4)
歴史・文化財	35.2	32.0(26.4)
その他	1.5	0.2(0.2)
鑑賞したものはない	18.6	17.6(17.6)

※平成30年度調査は、「鑑賞の有無」と「鑑賞した内容」を別々に調査しており、『鑑賞をした』人のうち、該当する内容の回答者の割合が示されています。

令和3年度調査は、同じ設問で「鑑賞の有無」と「鑑賞した内容」を調査しており、実数は『鑑賞をした』人のうち該当の区分に対する回答者の割合を示し、()内は全回答者数に対する割合を示しています。

【年代別】

年代別で見ると、18-29歳、30-39歳、40-49歳で「メディア芸術（アニメ、ゲーム、漫画など）」の割合が高くなっています。一方で、60-69歳、70歳以上で「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）」の割合が高くなっています。

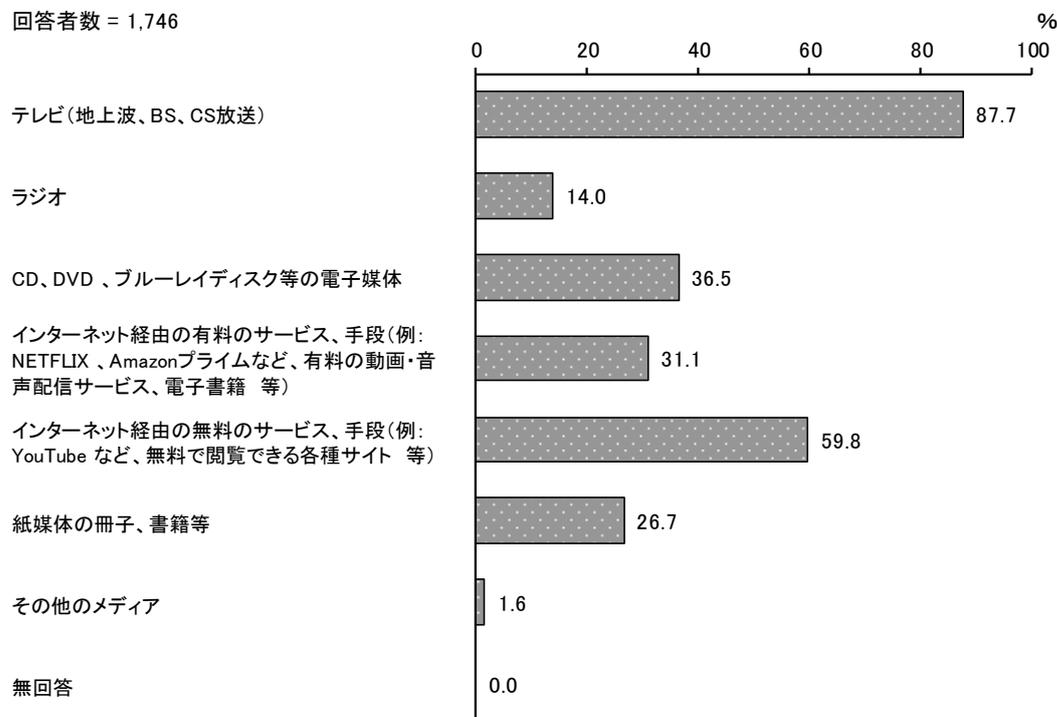
単位：%

区分	回答者数（件）	音楽（ポピュラー、クラシック、伝統音楽など）	美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）	演劇・ダンス（オペラ、ミュージカル、人形劇、バレエ、舞踊など）	映画	漫画など）	メディア芸術（アニメ、ゲーム、漫画など）	舞伎、能、祭の神事など）	演芸・伝統芸能（落語、漫才、歌	文芸（短歌、俳句、詩、小説など）	盆栽・園芸、囲碁・将棋など）	生活文化（お茶、生け花、手芸、	歴史・文化財（建造物、遺跡、古	文書、近代産業遺産など）	その他	鑑賞したものはない	無回答
18-29歳	345	57.4	16.5	9.0	63.2	48.7	9.6	9.3	9.3	9.6	13.9	0.3	19.1	—			
30-39歳	354	59.3	18.4	9.3	61.0	56.5	10.2	9.3	11.3	20.3	—	17.5	—				
40-49歳	351	59.3	18.8	8.3	60.1	45.6	16.0	9.1	10.0	19.9	—	19.7	—				
50-59歳	360	61.4	19.7	10.3	65.3	31.9	18.6	7.2	13.3	29.2	—	15.0	—				
60-69歳	362	50.0	27.1	11.9	58.3	21.5	22.4	9.9	19.3	33.7	0.8	17.7	—				
70歳以上	348	46.8	33.3	9.5	50.9	11.8	29.6	17.8	23.0	40.8	—	17.0	—				

問2 問1で「選択肢1～10」を回答された方にお聞きします。あなたは、どのようなメディアを活用して鑑賞しましたか。当てはまるものすべてを選択してください。

「テレビ（地上波、BS、CS放送）」の割合が87.7%と最も高く、次いで「インターネット経由の無料のサービス、手段（例：YouTube など、無料で閲覧できる各種サイト 等）」の割合が59.8%、「CD、DVD、ブルーレイディスク等の電子媒体」の割合が36.5%となっています。

回答者数 = 1,746



【年代別】

年代別でみると、18-29歳、30-39歳で「インターネット経由の有料のサービス、手段」及び「インターネット経由の無料のサービス、手段」の割合が高い傾向にあります。

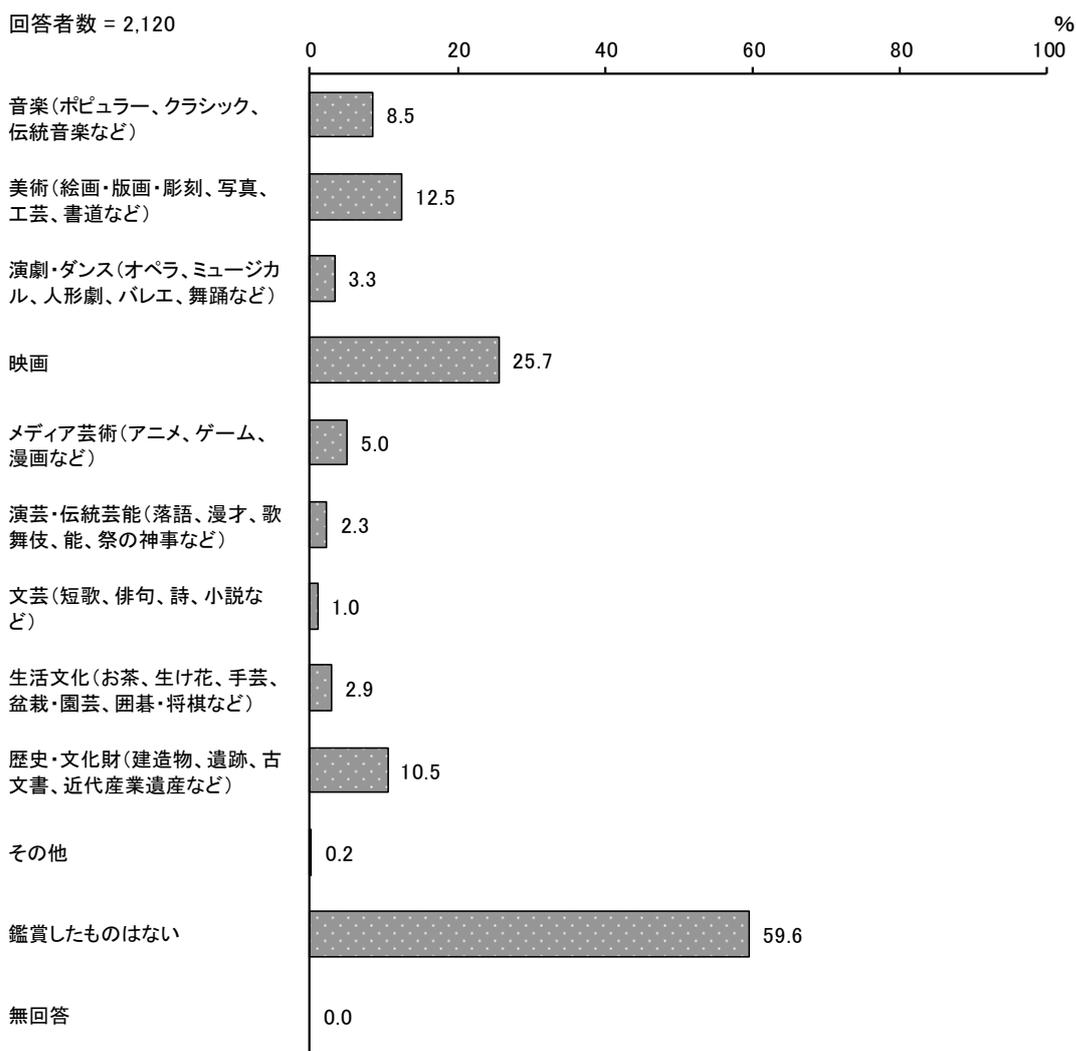
単位：%

区分	回答者数(件)	テレビ(地上波、BS、CS放送)	ラジオ	CD、DVD、ブルーレイディスク等の電子媒体	インターネット経由の有料のサービス、手段	インターネット経由の無料のサービス、手段	紙媒体の冊子、書籍等	その他のメディア	無回答
18-29歳	279	83.5	9.3	36.2	49.5	73.5	25.1	1.1	—
30-39歳	292	87.0	13.0	45.5	42.5	67.8	28.4	0.7	—
40-49歳	282	86.9	11.7	41.8	31.9	57.4	24.1	2.1	—
50-59歳	306	86.3	16.3	35.6	31.4	59.5	22.2	1.0	—
60-69歳	298	91.6	20.1	30.5	19.1	51.7	26.5	1.3	—
70歳以上	289	90.7	13.1	29.8	13.1	49.5	34.3	3.5	—

問3 すべての方にお聞きします。あなたが、昨年1年間に、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などの会場や屋外等で、直接、鑑賞した文化・芸術は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「鑑賞したものはない」の割合が59.6%と最も高くなっています。鑑賞したものの中では、「映画」の割合が25.7%、次いで「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）」の割合が12.5%となっています。

なお、全体のうち、直接文化・芸術の『鑑賞をした人』の割合は40.4%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「映画」、「メディア芸術」の割合が増加しています。

単位：％

区分	平成24年度調査	平成26年度調査	平成27年度調査	平成30年度調査	令和3年度調査※
ポピュラー	28.3	30.2	30.7	28.6	21.0 (8.5)
クラシック	20.5	21.4	21.1	18.6	
伝統音楽	5.6	2.8	1.4	2.7	
その他音楽	3.2	3.8	1.8	2.5	
美術	50.5	46.2	40.9	39.0	30.8(12.5)
演劇	17.2	16.0	17.6	14.1	8.3 (3.3)
舞踊・ダンス	8.0	9.6	8.1	8.1	
映画	60.9	53.5	59.1	59.9	63.7(25.7)
メディア芸術	2.8	2.5	5.1	6.8	12.4 (5.0)
伝統芸能	6.2	8.9	9.9	7.6	5.7 (2.3)
演芸	13.4	14.8	13.3	12.1	
文芸	4.1	4.7	1.2	0.7	2.5 (1.0)
生活文化	20.0	26.0	16.1	14.2	7.1 (2.9)
歴史・文化財	22.3	29.5	28.1	25.0	26.1(10.5)
その他	1.4	2.9	1.8	1.1	0.6 (0.2)
鑑賞したものはない	36.5	36.5	30.2	32.7	59.6(59.6)

※平成30年度調査までは、「鑑賞の有無」と「鑑賞した内容」を別々に調査しており、『鑑賞をした』人のうち、該当する内容の回答者の割合が示されています。

令和3年度調査は、同じ設問で「鑑賞の有無」と「鑑賞した内容」を調査しており、実数は『鑑賞をした』人のうち該当の内容に対する回答者の割合を示し、()内は全回答者数に対する割合を示しています。

【年代別】

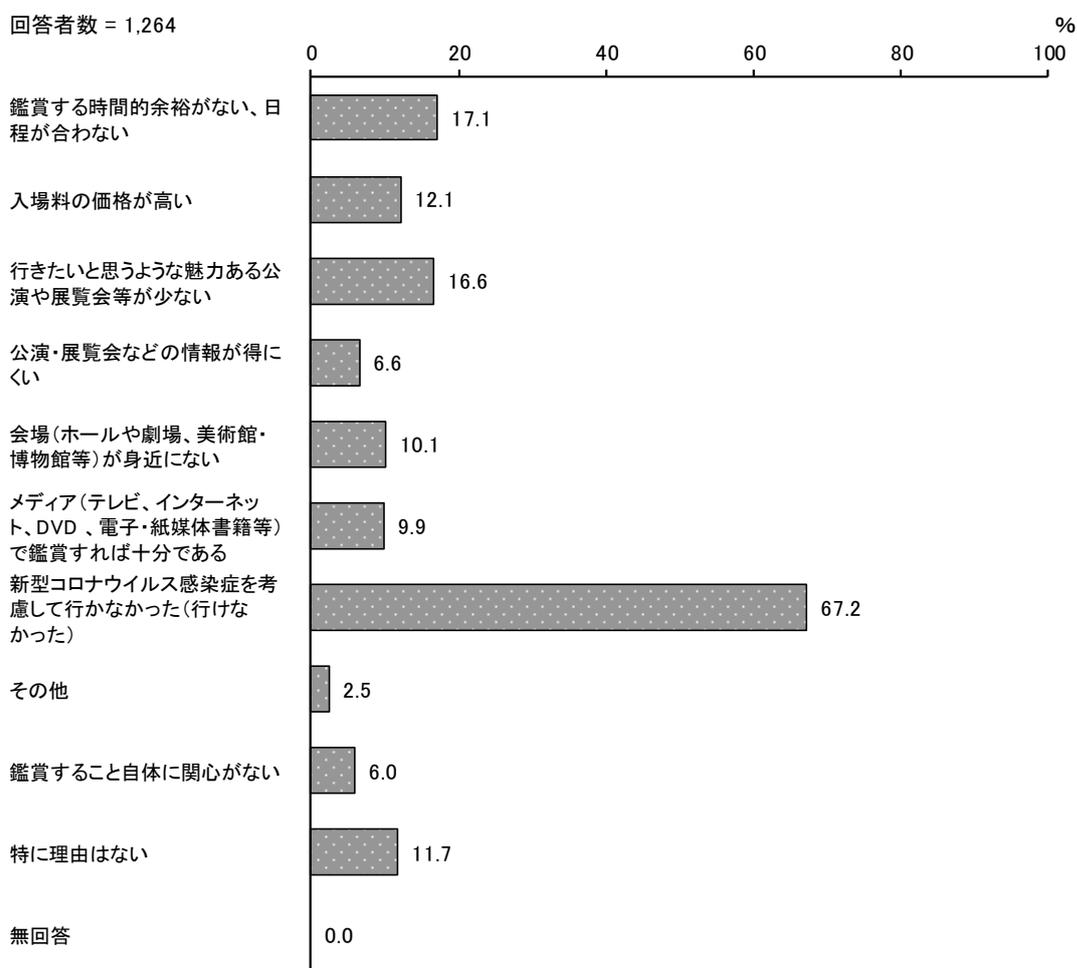
年代別で見ると、「音楽（ポピュラー、クラシック、伝統音楽など）」、「映画」、「メディア芸術（アニメ、ゲーム、漫画など）」については、他の年代に比べ、18-29歳で最も割合が高く、若い年代ほど鑑賞の割合も高くなる傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	音楽（ポピュラー、クラシック、伝統音楽など）	美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）	演劇・ダンス（オペラ、ミュージカル、人形劇、バレエ、舞踊など）	映画	メディア芸術（アニメ、ゲーム、漫画など）	演芸・伝統芸能（落語、漫才、歌舞伎、能、祭の神事など）	文芸（短歌、俳句、詩、小説など）	生活文化（お茶、生け花、手芸、盆栽・園芸、囲碁・将棋など）	歴史・文化財（建造物、遺跡、古文書、近代産業遺産など）	その他	鑑賞したものはない	無回答
18-29歳	345	12.2	11.3	3.5	36.5	11.6	1.7	1.4	1.7	7.5	—	51.3	—
30-39歳	354	9.6	10.7	5.4	28.0	7.1	2.0	0.6	1.7	10.2	0.3	59.3	—
40-49歳	351	8.3	9.7	2.0	26.8	3.7	1.1	0.3	0.9	7.1	—	61.5	—
50-59歳	360	7.2	10.8	2.2	26.1	2.8	1.7	0.3	1.9	11.9	0.3	60.0	—
60-69歳	362	7.2	14.9	4.1	21.3	3.0	3.0	1.1	3.9	13.5	0.3	63.3	—
70歳以上	348	6.6	17.2	2.9	15.8	2.0	4.3	2.3	7.2	12.6	0.6	62.1	—

問4 問3で「11. 鑑賞したものはない」と回答された方にお聞きします。昨年、あなたが鑑賞に出かけなかったのは、どのような理由からですか。当てはまるものすべてを選択してください。

「新型コロナウイルス感染症を考慮して行かなかった（行けなかった）」の割合が67.2%と最も高く、次いで「鑑賞する時間的余裕がない、日程が合わない」の割合が17.1%、「行きたいと思うような魅力ある公演や展覧会等が少ない」の割合が16.6%となっています。



【経年比較】

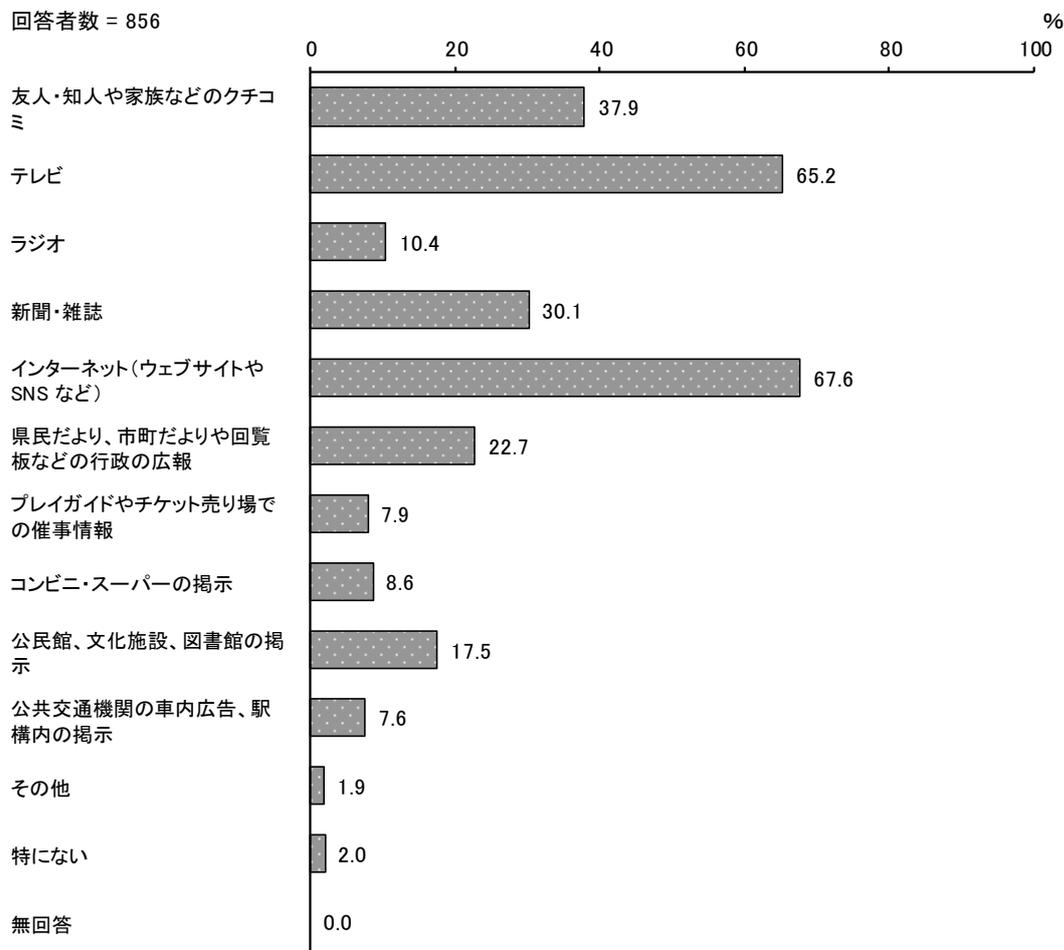
過去の調査と比較すると、「新型コロナウイルス感染症を考慮して行かなかった（行けなかった）」が大半を占め、それ以外のほぼすべての項目で割合は減少しています。

単位：％

区分	平成 24 年度 調査	平成 26 年度 調査	平成 27 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 3 年度 調査
鑑賞する時間的余裕がない、日程が合わない	50.1	34.7	45.0	43.9	17.1
入場料の価格が高い	19.0	10.4	18.7	17.1	12.1
行きたいと思うような魅力ある公演や展覧会等が少ない	24.6	18.2	26.5	28.5	16.6
公演・展覧会などの情報が得にくい	20.6	11.0	13.8	13.9	6.6
会場（ホールや劇場、美術館・博物館等）が身近にない	22.1	15.4	23.5	26.1	10.1
メディア（テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等）で鑑賞すれば十分である	15.8	10.6	30.5	30.8	9.9
新型コロナウイルス感染症を考慮して行かなかった（行けなかった）	—	—	—	—	67.2
その他	5.4	11.0	14.4	9.0	2.5
鑑賞すること自体に関心がない	14.8	13.7	11.6	17.4	6.0
特に理由はない	9.1	6.6	5.8	6.6	11.7
無回答	1.8	12.8	0.4	1.8	—

問5 問3で「選択肢1～10」を回答された方にお聞きします。あなたは、直接、文化・芸術鑑賞をする機会の情報を入手するために、現在どのようなもの（媒体・手段）を利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「インターネット（ウェブサイトやSNS など）」の割合が67.6%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が65.2%、「友人・知人や家族などのクチコミ」の割合が37.9%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「インターネット（ウェブサイトや SNS など）」の割合が増加しています。また、「新聞・雑誌」の割合は減少傾向です。

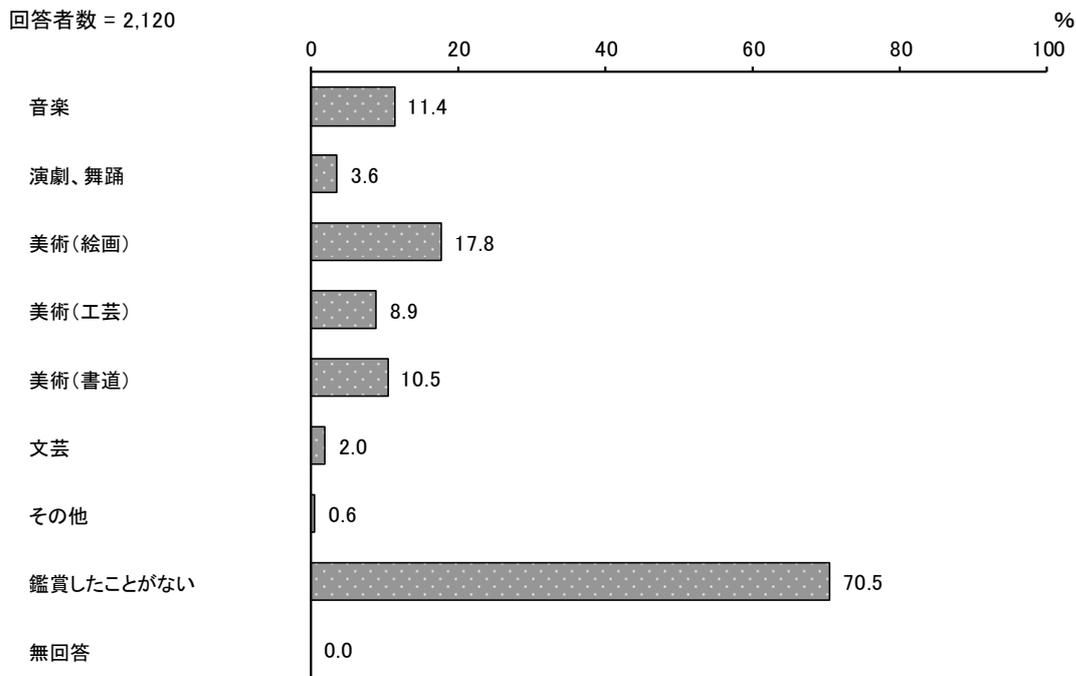
単位：％

区分	平成 24 年度 調査	平成 26 年度 調査	平成 27 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 3 年度 調査
友人・知人や家族などのクチコミ	51.1	53.8	54.6	53.9	37.9
テレビ	59.4	57.6	69.8	66.2	65.2
ラジオ	—	—	15.5	15.0	10.4
新聞・雑誌	51.2	54.0	49.4	46.0	30.1
インターネット(ウェブサイトや SNS など)	36.7	31.2	54.5	58.8	67.6
県民だより、市町だよりや回覧板などの行政の広報	27.0	35.2	58.8	28.1	22.7
プレイガイドやチケット売り場での催事情報	3.8	4.9	7.8	8.0	7.9
コンビニ・スーパーの掲示	7.6	7.7	12.2	11.6	8.6
公民館、文化施設、図書館の掲示	12.1	16.5	17.5	14.8	17.5
公共交通機関の車内広告、駅構内の掲示	—	—	—	—	7.6
その他	2.3	1.9	2.5	1.5	1.9
特になし	5.2	5.6	2.0	2.6	2.0
無回答	3.2	3.2	1.1	1.7	—

問6 すべての方にお聞きします。あなたは、障害のある人の文化・芸術作品を鑑賞したことがありますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

「鑑賞したことがない」の割合が70.5%と最も高くなっています。鑑賞したものの中では「美術（絵画）」の割合が17.8%、「音楽」の割合が11.4%となっています。

なお、全体のうち、『鑑賞したことがある』人の割合は29.5%となっています。



【年代別】

年代別でみると、60-69歳で「音楽」、「演劇、舞踊」、「美術（工芸）」、「美術（書道）」、「その他」の割合が最も高くなっています。また、若い年代ほど「鑑賞したことがない」の割合が高い傾向にあります。

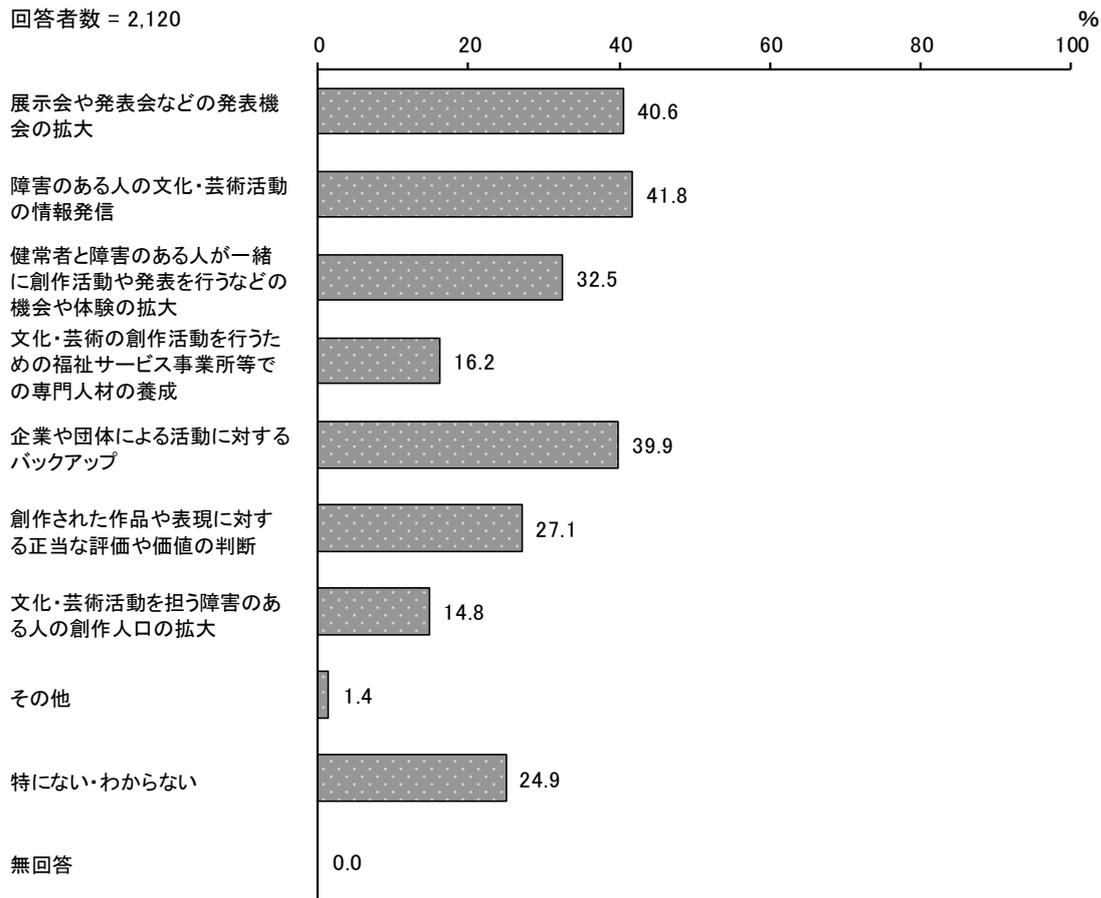
単位：%

区分	回答者数(件)	音楽	演劇、舞踊	美術(絵画)	美術(工芸)	美術(書道)	文芸	その他	鑑賞したことがない	無回答
18-29歳	345	10.1	2.9	13.3	5.8	5.5	2.3	—	77.7	—
30-39歳	354	8.5	3.7	13.6	7.1	8.2	1.7	0.8	77.1	—
40-49歳	351	8.0	4.3	12.3	6.0	9.4	1.7	0.3	76.4	—
50-59歳	360	14.2	3.6	18.9	10.8	12.5	2.8	0.3	66.7	—
60-69歳	362	15.2	4.7	23.8	13.8	14.4	2.2	1.7	62.2	—
70歳以上	348	12.4	2.3	25.0	9.8	12.6	1.1	0.3	63.2	—

問7 すべての方にお聞きします。あなたは、障害のある人に対して、文化・芸術活動を通じて理解を深めるために、必要と思うことは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

「障害のある人の文化・芸術活動の情報発信」の割合が41.8%と最も高く、次いで「展示会や発表会などの発表機会の拡大」の割合が40.6%、「企業や団体による活動に対するバックアップ」の割合が39.9%となっています。

回答者数 = 2,120



【年代別】

年代別でみると、60-69歳、70歳以上で「展示会や発表会などの発表機会の拡大」の割合が高くなっています。

単位：％

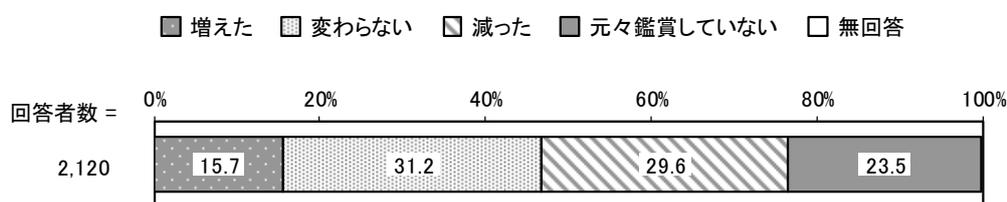
区分	回答者数(件)	展示会や発表会などの発表機会の拡大	障害のある人の文化・芸術活動の情報発信	健常者と障害のある人が一緒に創作活動や発表を行うなどの機会や体験の拡大	文化・芸術の創作活動を行うための福祉サービス事業所等での専門人材の養成	企業や団体による活動に対するバックアップ	創作された作品や表現に対する正当な評価や価値の判断	文化・芸術活動を担う障害のある人の創作人口の拡大	その他	特になし・わからない	無回答
18-29歳	345	29.0	36.5	26.7	12.2	29.3	23.2	11.0	0.3	38.3	—
30-39歳	354	32.8	39.3	31.4	15.3	37.9	24.9	11.6	2.3	29.1	—
40-49歳	351	40.5	41.9	29.3	13.1	34.2	25.6	15.7	2.0	26.2	—
50-59歳	360	40.8	43.6	38.9	18.3	42.5	28.3	15.6	0.8	20.8	—
60-69歳	362	49.4	43.4	35.6	19.6	45.3	32.0	16.0	1.4	19.3	—
70歳以上	348	50.6	46.3	32.5	18.4	50.0	28.2	18.7	1.4	16.1	—

問8 すべての方にお聞きします。新型コロナウイルス感染症発生に伴って、あなたが文化・芸術を鑑賞する機会に変化は生じましたか。メディア及び会場等での直接の鑑賞機会の変化について、あなたの状況にいちばん近い状態をそれぞれ1つ選択してください。

メディアでの鑑賞機会については、15.7%が「増えた」と回答し、29.6%が「減った」と回答しています。一方で、直接の鑑賞機会は1.0%が「増えた」と回答し、56.8%が「減った」と回答しています。

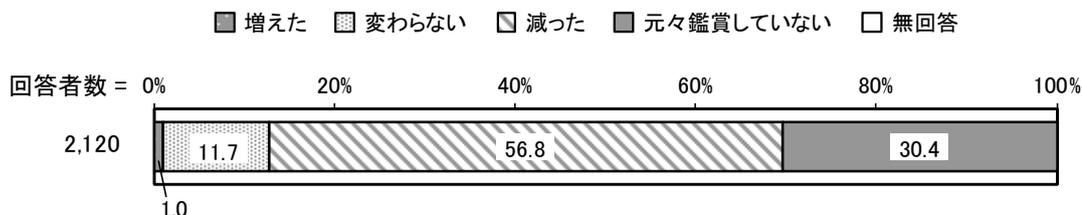
メディアでの鑑賞機会

「変わらない」の割合が31.2%と最も高く、次いで「減った」の割合が29.6%、「元々鑑賞していない」の割合が23.5%となっています。



直接の鑑賞機会

「減った」の割合が56.8%と最も高く、次いで「元々鑑賞していない」の割合が30.4%、「変わらない」の割合が11.7%となっています。

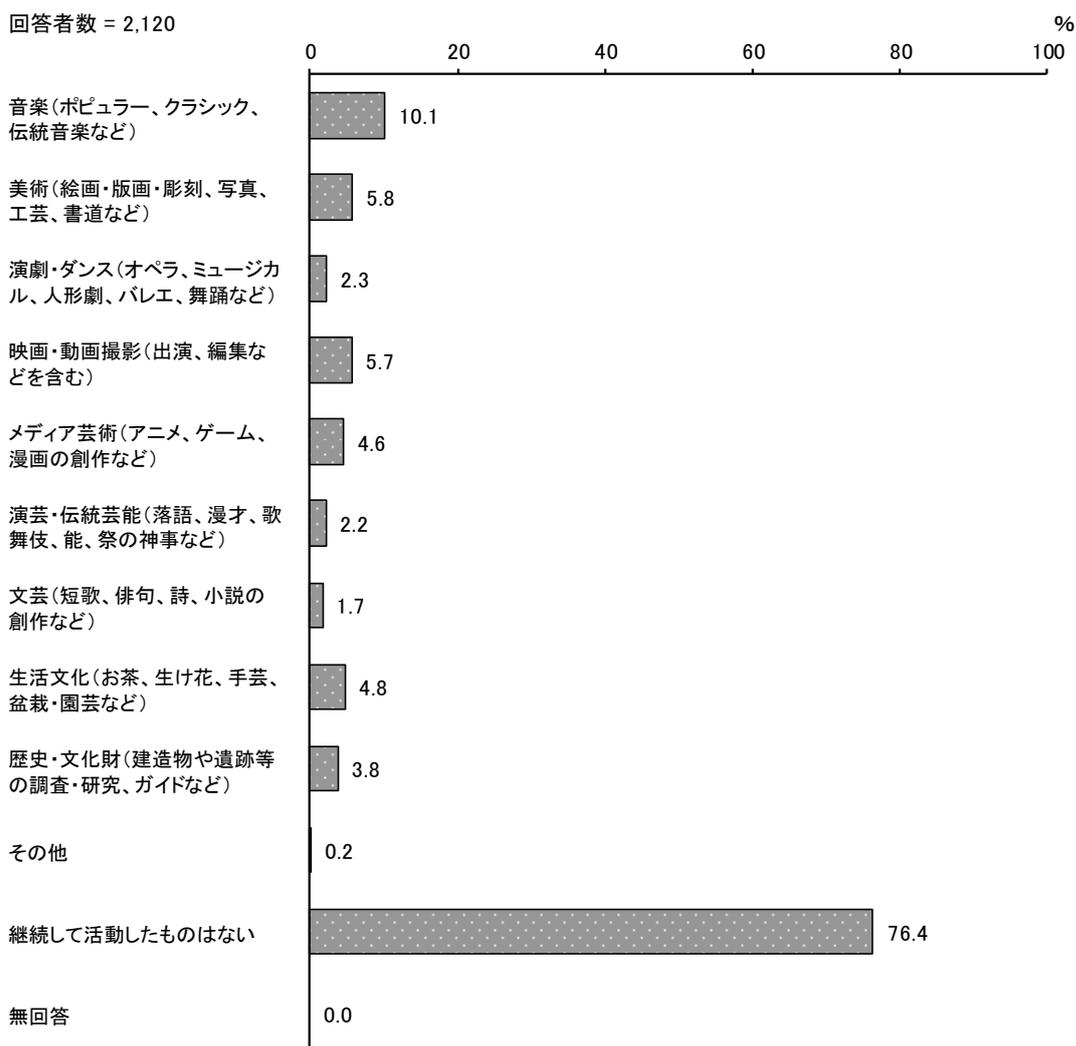


3 文化・芸術の活動について

問9 すべての方にお聞きします。あなたが、昨年1年間に、文化・芸術に関することで、個人またはグループで、継続して活動したものは次のうちどれですか。当てはまるものすべてを選択してください。

「継続して活動したものはない」の割合が76.4%と最も高く、活動をしたものの中では「音楽（ポピュラー、クラシック、伝統音楽など）」の割合が10.1%と最も高くなっています。

なお、全体のうち、文化・芸術について『継続して活動をしたことがある』人の割合は23.6%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「継続して活動したものはなし」と回答した人の割合はあまり変わっていません。また個別の項目では、「メディア芸術」の割合が大きく増加している一方、「生活文化」の割合が大きく減少しています。

単位：％

区分	平成24年度調査	平成26年度調査	平成27年度調査	平成30年度調査	令和3年度調査※
ポピュラー	14.9	15.2	18.3	19.8	42.8(10.1)
クラシック	23.1	16.2	16.3	9.6	
伝統音楽	4.4	3.6	2.1	4.9	
その他音楽	1.8	1.9	0.8	3.5	
美術	26.1	27.6	21.4	22.1	24.6 (5.8)
演劇	4.1	3.2	5.6	6.9	9.6 (2.3)
舞踊・ダンス	13.9	15.2	13.5	11.6	
映画・動画撮影	—	—	—	—	24.2 (5.7)
メディア芸術	4.0	4.0	3.0	1.7	19.4 (4.6)
伝統芸能	3.5	7.3	6.7	6.1	9.2 (2.2)
演芸	2.0	2.4	4.4	8.2	
文芸	4.7	8.8	8.3	5.5	7.4 (1.7)
生活文化	29.7	36.1	28.4	36.4	20.2 (4.8)
歴史・文化財	8.1	16.5	10.8	7.5	16.2 (3.8)
その他	6.3	7.1	4.5	2.7	1.0 (0.2)
継続して活動したものはなし	79.2	73.9	77.3	78.5	76.4(76.4)

※平成30年度調査までは、文化・芸術に関することについて「継続して活動したことの有無」と「継続して活動をした内容」を別々に調査しており、『継続して活動をしたことがある』人のうち、該当する内容の回答者の割合が示されています。

令和3年度調査は、同じ設問で「継続して活動したことの有無」と「継続して活動をした内容」を調査しており、実数は『継続して活動をしたことがある』人のうち該当の内容に対する回答者の割合を示し、()内は全回答者数に対する割合を示しています。

【年代別】

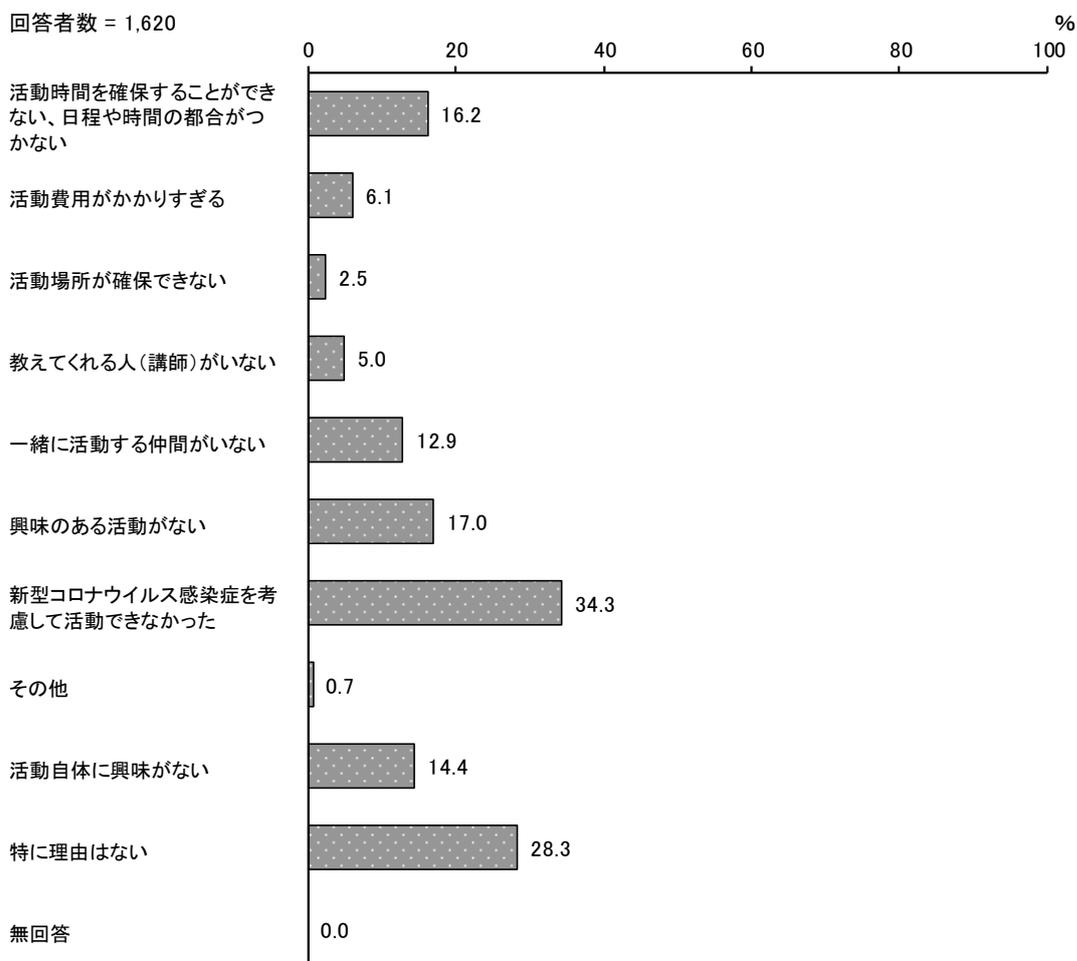
年代別で見ると、60-69歳、70歳以上で「継続して活動したものはない」の割合が少なくなっていることから、高齢の年代ほど、継続した活動を実施している傾向にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	音楽(ポピュラー、クラシック、伝統音楽など)	美術(絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など)	演劇・ダンス(オペラ、ミュージカル、人形劇、バレエ、舞踊など)	映画・動画撮影(出演、編集などを含む)	メディア芸術(アニメ、ゲーム、漫画の創作など)	演芸・伝統芸能(落語、漫才、歌舞伎、能、祭の神事など)	文芸(短歌、俳句、詩、小説の創作など)	盆栽・園芸など	生活文化(お茶、生け花、手芸)	歴史・文化財(建造物や遺跡等の調査・研究、ガイドなど)	その他	継続して活動したものはない	無回答
18-29歳	345	12.5	5.2	2.3	5.5	9.0	2.3	2.3	2.6	0.6	—	75.7	—	
30-39歳	354	8.5	4.5	1.7	3.1	5.1	0.6	0.6	4.2	2.3	0.6	80.2	—	
40-49歳	351	13.7	3.4	1.4	6.3	5.4	1.7	1.1	2.8	2.8	—	78.9	—	
50-59歳	360	7.8	3.9	2.5	6.4	4.2	1.1	0.8	3.9	2.8	0.3	81.1	—	
60-69歳	362	10.2	8.0	3.3	6.1	2.8	3.9	3.0	7.5	6.4	0.6	73.8	—	
70歳以上	348	8.0	9.8	2.3	6.9	1.1	3.4	2.6	7.5	8.0	—	68.7	—	

問10 問9で「11. 継続して活動したものはない」と回答された方にお聞きします。文化・芸術に関することで、昨年1年間にあなたが継続して活動していないのは、どのような理由からですか。当てはまるものすべてを選択してください。

「新型コロナウイルス感染症を考慮して活動できなかった」の割合が34.3%と最も高く、次いで「特に理由はない」の割合が28.3%、「興味のある活動がない」の割合が17.0%となっています。



【経年比較】

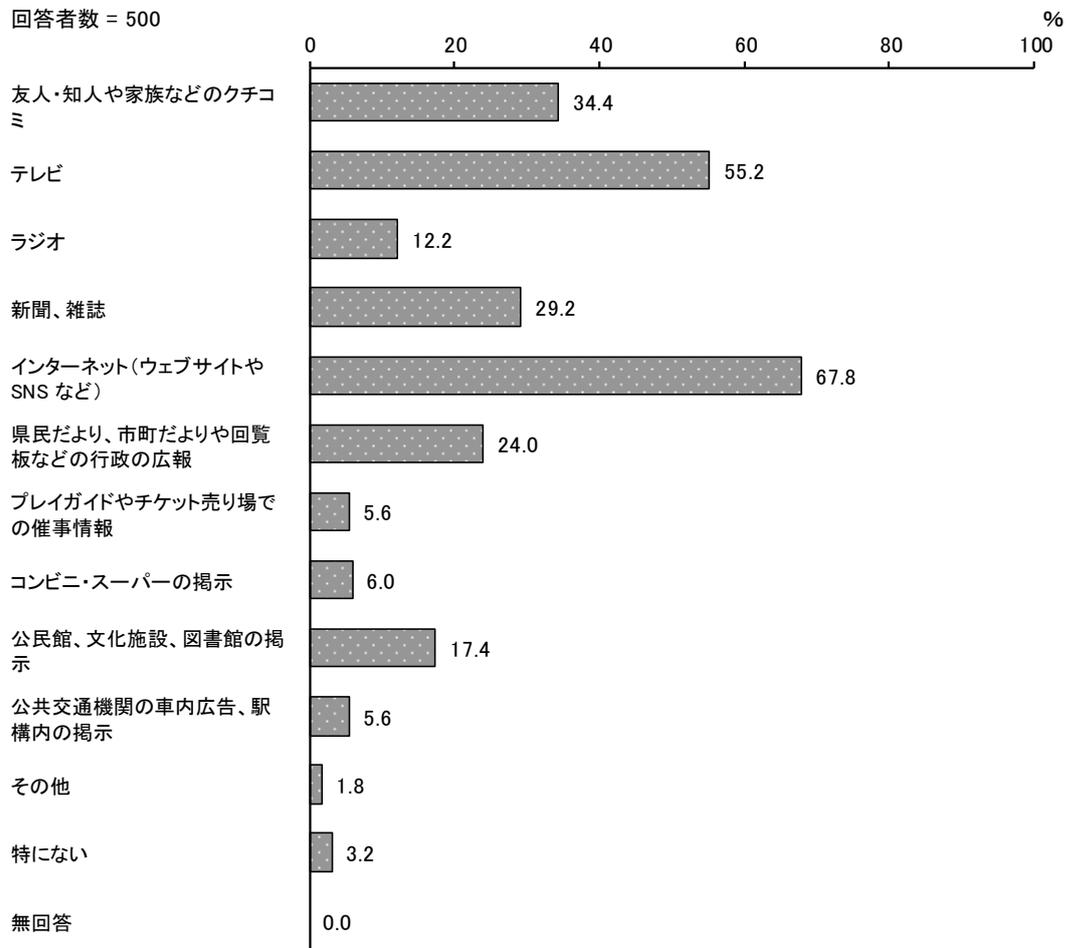
過去の調査と比較すると、「新型コロナウイルス感染症を考慮して活動できなかった」が大きな割合を占めたこともあり、「特に理由はない」以外の区分で割合は減少しています。

単位：％

区分	平成 24 年度 調査	平成 26 年度 調査	平成 27 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 3 年度 調査
活動時間を確保することができない、日程や時間の都合がつかない	54.8	45.9	39.2	40.3	16.2
活動費用がかかりすぎる	14.3	14.3	12.3	9.1	6.1
活動場所が確保できない	2.8	5.1	5.5	3.7	2.5
教えてくれる人(講師)がいない	5.9	5.0	8.1	8.1	5.0
一緒に活動する仲間がいない	20.0	16.1	19.7	20.2	12.9
興味のある活動がない	20.1	19.5	18.7	20.9	17.0
新型コロナウイルス感染症を考慮して活動できなかった	—	—	—	—	34.3
その他	4.2	5.7	6.6	5.8	0.7
活動自体に興味がない	11.7	14.5	19.9	23.0	14.4
特に理由はない	12.9	14.6	19.7	15.1	28.3
無回答	0.7	1.7	0.5	1.7	—

問 11 問 9 で「選択肢 1～10」を回答された方にお聞きします。あなたは、文化・芸術に関する活動についての情報を入手するために、現在どのようなもの（媒体・手段）を利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「インターネット（ウェブサイトや SNS など）」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が 55.2%、「友人・知人や家族などのクチコミ」の割合が 34.4%となっています。



【経年比較】

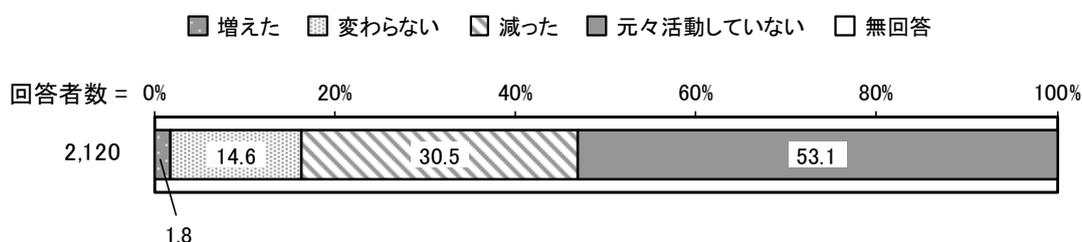
過去の調査と比較すると、「インターネット」の割合が大きく増加しています。また、「新聞」の割合は減少傾向です。

単位：％

区分	平成24年度調査	平成26年度調査	平成27年度調査	平成30年度調査	令和3年度調査
友人・知人や家族などのクチコミ	46.7	50.1	48.5	49.0	34.4
テレビ	45.6	51.3	49.2	51.2	55.2
ラジオ	—	—	12.4	13.4	12.2
新聞	47.3	52.4	39.5	36.2	29.2
雑誌	—	—	21.1	19.6	29.2
インターネット	30.7	29.5	43.2	47.1	67.8
県民だより、市町だよりや回覧板などの行政の広報	33.1	36.9	27.6	26.4	24.0
プレイガイドやチケット売り場での催事情報	2.2	3.0	3.0	4.3	5.6
コンビニ・スーパーの掲示	4.6	6.0	7.9	8.1	6.0
公民館、文化施設、図書館の掲示	13.3	16.1	17.6	14.0	17.4
公共交通機関の車内広告、駅構内の掲示	—	—	—	—	5.6
その他	0.7	0.8	1.4	1.2	1.8
特になし	14.3	9.1	14.7	12.9	3.2
無回答	2.2	5.3	2.2	2.4	—

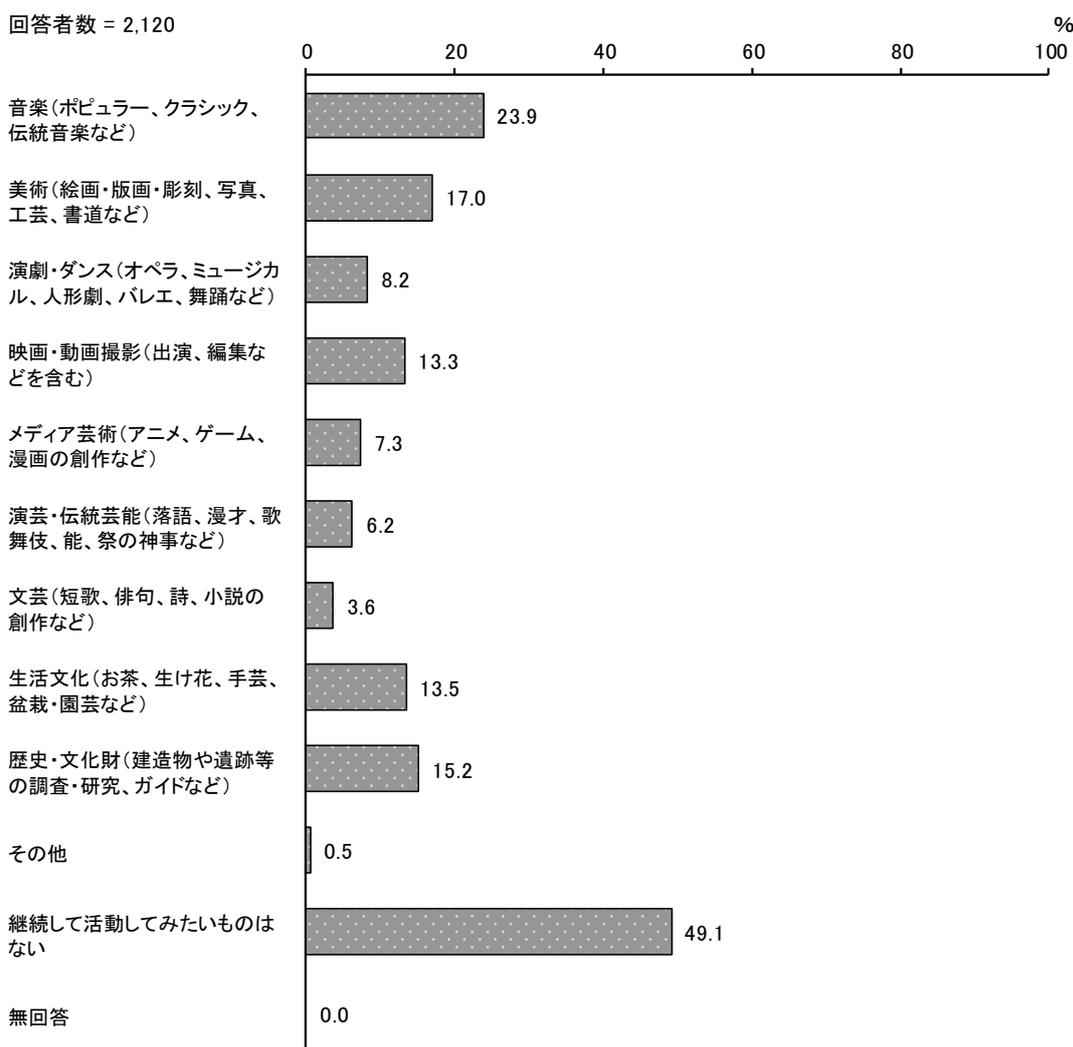
問 12 すべての方にお聞きします。新型コロナウイルス感染症発生に伴って、あなたが文化・芸術に関して、継続して活動する機会に変化は生じましたか。次の中から、あなたの状況にいちばん近い状態を1つ選択してください。

「元々活動していない」の割合が53.1%と最も高く、次いで「減った」の割合が30.5%、「変わらない」の割合が14.6%、「増えた」の割合が1.8%となっています。



問 13 すべての方にお聞きします。あなたは、次にあげる文化・芸術に関する活動の中で、今後、継続して活動してみたいものがありますか。活動してみたいものすべてを選択してください。

「継続して活動してみたいものはない」の割合が49.1%と最も高くなっています。また、活動してみたい内容の中では、「音楽（ポピュラー、クラシック、伝統音楽など）」の割合が23.9%、「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）」の割合が17.0%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「メディア芸術」、「歴史・文化財」の割合が増加している一方で、「美術」、「生活文化」の割合が減少しています。

単位：％

区分	平成 24 年度 調査	平成 26 年度 調査	平成 27 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 3 年度 調査
ポピュラー	13.3	15.9	24.7	23.0	23.9
クラシック	14.3	14.4	14.8	11.5	
伝統音楽	3.2	2.8	1.8	2.4	
その他音楽	1.1	1.8	1.8	2.6	
美術	27.8	26.5	25.6	22.7	17.0
演劇	5.7	8.6	8.8	8.4	8.2
舞踊・ダンス	8.0	4.6	6.0	5.4	
映画・動画撮影	—	—	—	—	13.3
メディア芸術	2.6	2.7	4.5	4.7	7.3
伝統芸能	4.1	6.3	5.5	5.3	6.2
演芸	5.9	8.1	7.0	8.5	
文芸	4.7	6.3	4.8	5.3	3.6
生活文化	23.7	25.4	25.7	25.4	13.5
歴史・文化財	13.2	14.4	13.7	13.4	15.2
その他	1.2	1.0	8.0	2.9	0.5
活動してみたいものはない	—	—	—	—	49.1
無回答	—	7.2	15.1	19.2	—

【年代別】

年代別で見ると、若い年代で「継続して活動してみたいものはない」の割合が高く、高齢の年代の方が、活動意欲が高くなる傾向があります。

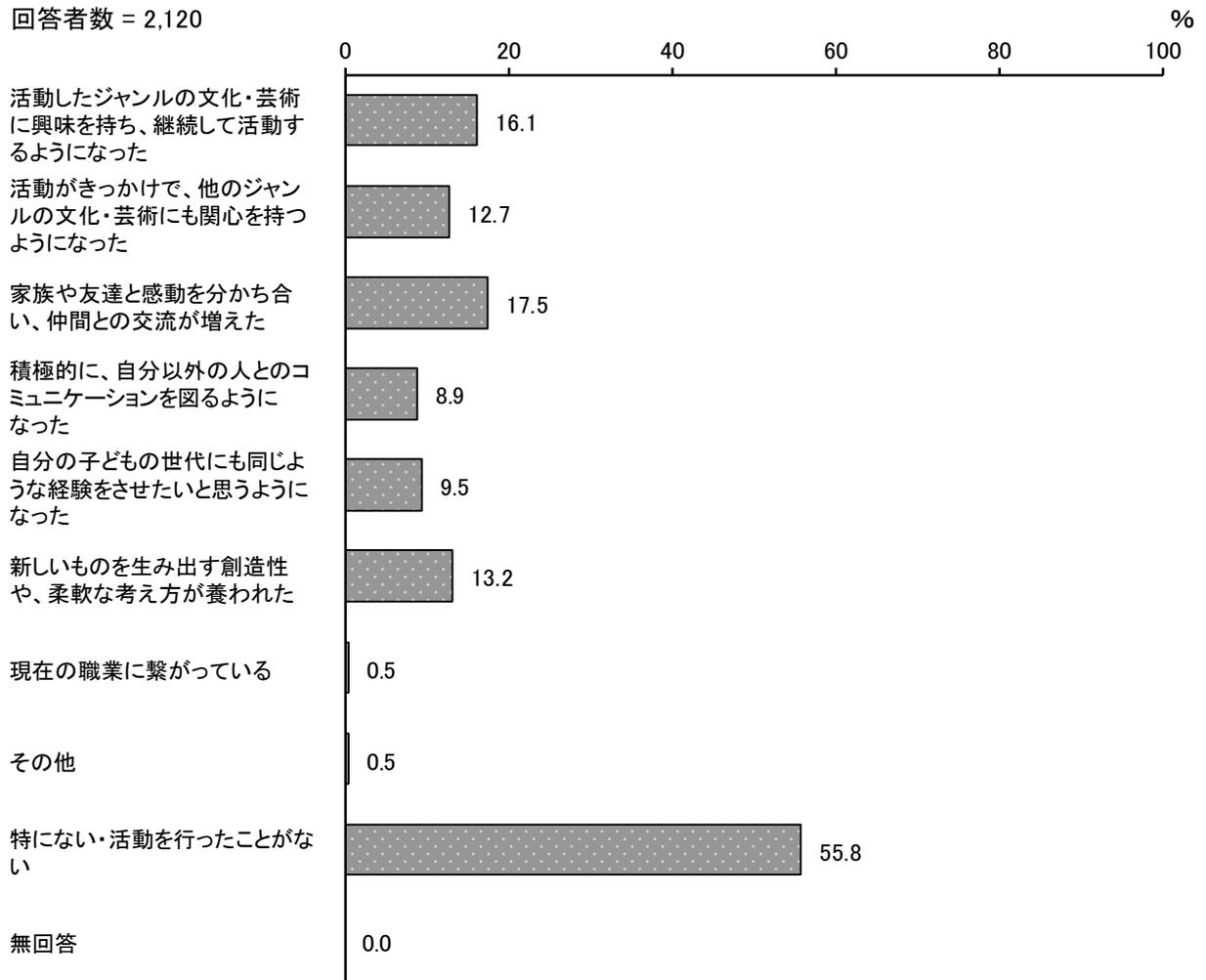
単位：%

区分	回答者数(件)	音楽(ポピュラー、クラシック、伝統音楽など)	美術(絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など)	演劇・ダンス(オペラ、ミュージカル、人形劇、バレエ、舞踊など)	映画・動画撮影(出演、編集などを含む)	メディア芸術(アニメ、ゲーム、漫画の創作など)	演芸・伝統芸能(落語、漫才、歌舞伎、能、祭の神事など)	文芸(短歌、俳句、詩、小説の創作など)	生活文化(お茶、生け花、手芸、盆栽・園芸など)	歴史・文化財(建造物や遺跡等の調査・研究、ガイドなど)	その他	継続して活動してみたいものはない	無回答
18-29 歳	345	24.1	12.5	9.3	10.7	13.0	2.3	3.8	10.1	4.1	—	55.7	—
30-39 歳	354	25.4	16.1	10.5	12.7	10.2	3.7	2.8	15.5	11.6	0.6	53.1	—
40-49 歳	351	24.5	14.8	7.1	13.7	7.7	5.7	2.0	10.5	13.4	—	56.1	—
50-59 歳	360	23.6	17.8	6.1	13.3	7.8	4.4	2.2	15.8	13.3	0.8	49.4	—
60-69 歳	362	25.7	21.8	9.4	15.2	3.0	9.9	3.9	14.6	26.0	0.8	39.8	—
70 歳以上	348	20.1	19.0	6.9	13.8	2.0	10.9	7.2	14.4	22.7	0.6	40.5	—

問 14 すべての方にお聞きします。あなたは、これまで文化・芸術に関する活動を行ったことで、自身にどのような効果・影響がありましたか。次の中から当てはまるものすべてを選択してください。

「特にない・活動を行ったことがない」の割合が 55.8%と最も高く、活動を行った人の中では「家族や友達と感動を分かち合い、仲間との交流が増えた」の割合が 17.5%、「活動したジャンルの文化・芸術に興味を持ち、継続して活動するようになった」の割合が 16.1%の順に高くなっています。

回答者数 = 2,120



【経年比較】

前回調査と比べると、「特にない・活動を行ったことがない」が大きく増加しています。

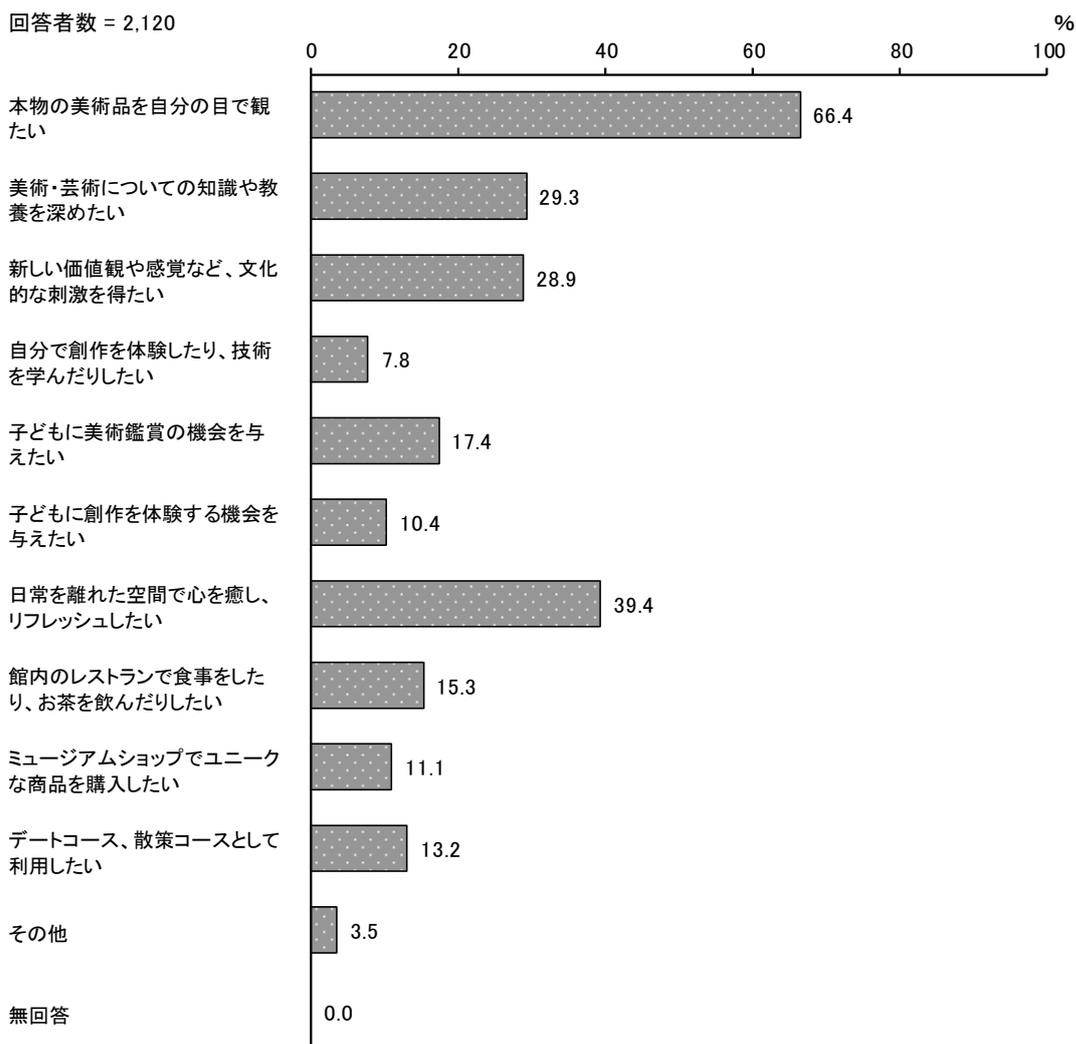
単位：％

区分	平成30年度調査	令和3年度調査
活動したジャンルの文化・芸術に興味を持ち、継続して活動するようになった	19.7	16.1
活動がきっかけで、他のジャンルの文化・芸術にも関心を持つようになった	16.8	12.7
家族や友達と感動を分かち合い、仲間との交流が増えた	32.4	17.5
積極的に、自分以外の人とのコミュニケーションを図るようになった	18.2	8.9
自分の子どもの世代にも同じような経験をさせたいと思うようになった	17.7	9.5
新しいものを生み出す創造性や、柔軟な考え方が養われた	19.6	13.2
現在の職業に繋がっている	1.4	0.5
その他	2.2	0.5
特にない・活動を行ったことがない	29.5	55.8
無回答	10.6	—

4 静岡県の文化施設等について

問 15 すべての方にお聞きします。あなたが静岡県立美術館に行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「本物の美術品を自分の目で観たい」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」の割合が 39.4%、「美術・芸術についての知識や教養を深めたい」の割合が 29.3%となっています。



【経年比較】

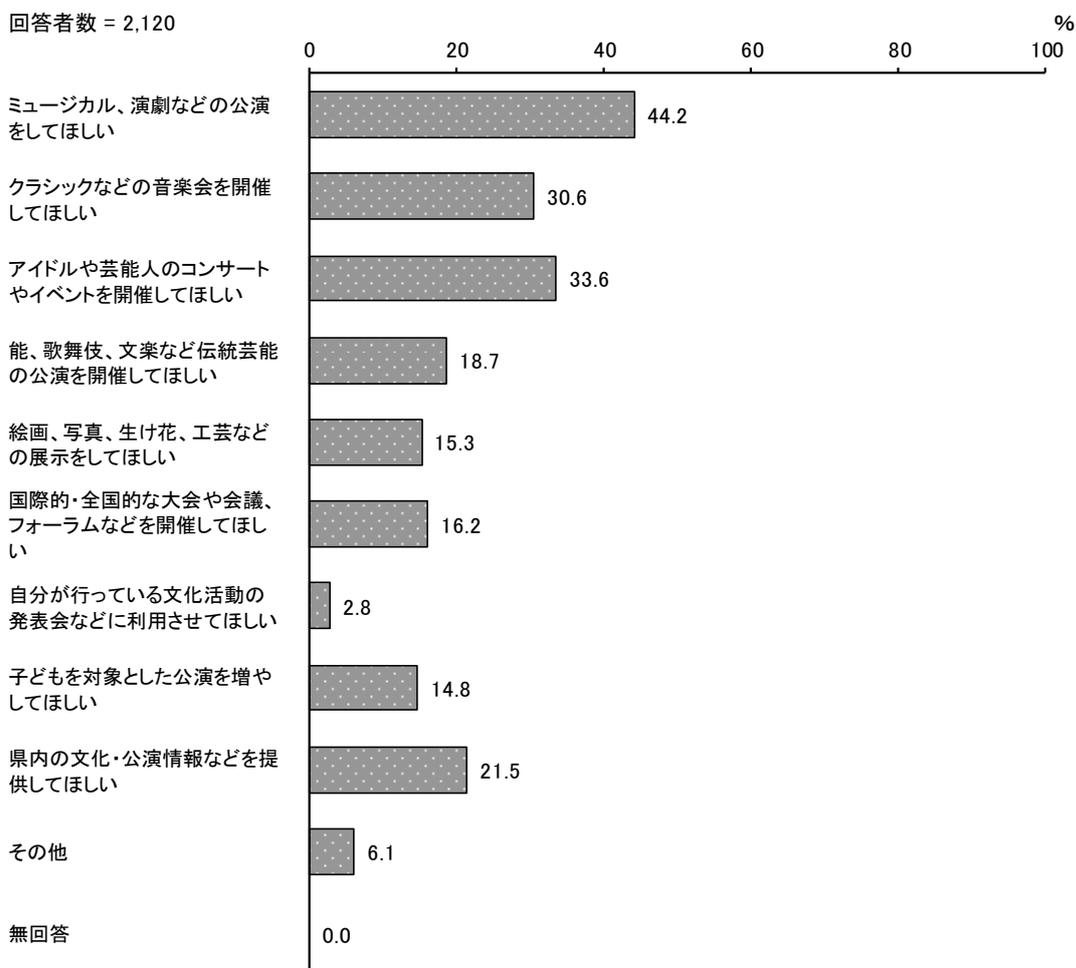
過去の調査と比較すると、令和3年度で「本物の美術品を自分の目で観たい」、「美術・芸術についての知識や教養を深めたい」、「子どもに美術鑑賞の機会を与えたい」、「子どもに創作を体験する機会を与えたい」、「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」の割合が減少しています。

単位：%

区分	平成 24 年度 調査	平成 26 年度 調査	平成 27 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 3 年度 調査
本物の美術品を自分の目で観たい	70.2	72.6	70.9	72.0	66.4
美術・芸術についての知識や教養を深めたい	33.3	33.1	34.4	34.2	29.3
新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい	29.0	28.7	34.1	30.5	28.9
自分で創作を体験したり、技術を学んだりしたい	10.8	10.8	10.6	7.4	7.8
子どもに美術鑑賞の機会を与えたい	24.8	24.8	23.7	25.2	17.4
子どもに創作を体験する機会を与えたい	—	—	14.0	15.6	10.4
日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい	45.8	43.4	51.0	47.5	39.4
館内のレストランで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい	12.6	15.4	16.4	14.9	15.3
ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい	7.4	7.7	10.4	13.3	11.1
デートコース、散策コースとして利用したい	9.5	7.5	14.0	8.4	13.2
その他	1.1	2.6	2.1	2.7	3.5
無回答	9.8	4.7	4.5	4.1	—

問 16 すべての方にお聞きします。あなたは、グランシップにどのようなこと（どうい
うことを行うべきか、どんな場になってほしいか）を期待しますか。次の中か
ら、当てはまるものすべてを選択してください。

「ミュージカル、演劇などの公演をしてほしい」の割合が44.2%と最も高く、次いで「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい」の割合が33.6%、「クラシックなどの音楽会を開催してほしい」の割合が30.6%となっています。



【経年比較】

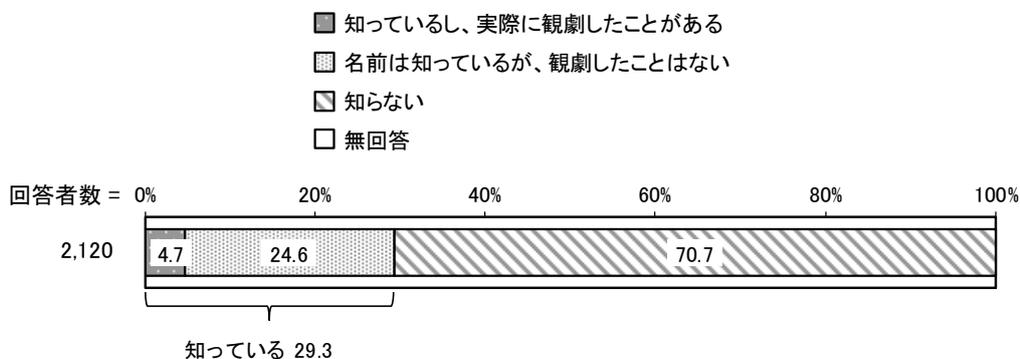
過去の調査と比較すると、「県内の文化・公演情報などを提供してほしい」が増加しています。

単位：%

区分	平成 24 年度 調査	平成 26 年度 調査	平成 27 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 3 年度 調査
ミュージカル、演劇などの公演をしてほしい	42.1	44.6	49.3	46.7	44.2
クラシックなどの音楽会を開催してほしい	28.7	25.7	30.8	30.5	30.6
アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい	—	—	35.3	34.2	33.6
能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演を開催してほしい	18.8	22.2	22.1	21.9	18.7
絵画、写真、生け花、工芸などの展示をしてほしい	21.3	20.6	17.6	20.8	15.3
国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどを開催してほしい	21.0	21.9	18.5	16.0	16.2
自分が行っている文化活動の発表会などに利用させてほしい	4.0	3.5	3.5	4.4	2.8
子どもを対象とした公演を増やしてほしい	17.8	18.7	14.6	15.9	14.8
県内の文化・公演情報などを提供してほしい	20.9	19.8	16.8	15.0	21.5
その他	7.9	9.9	8.3	5.1	6.1
無回答	16.3	9.5	7.8	11.2	—

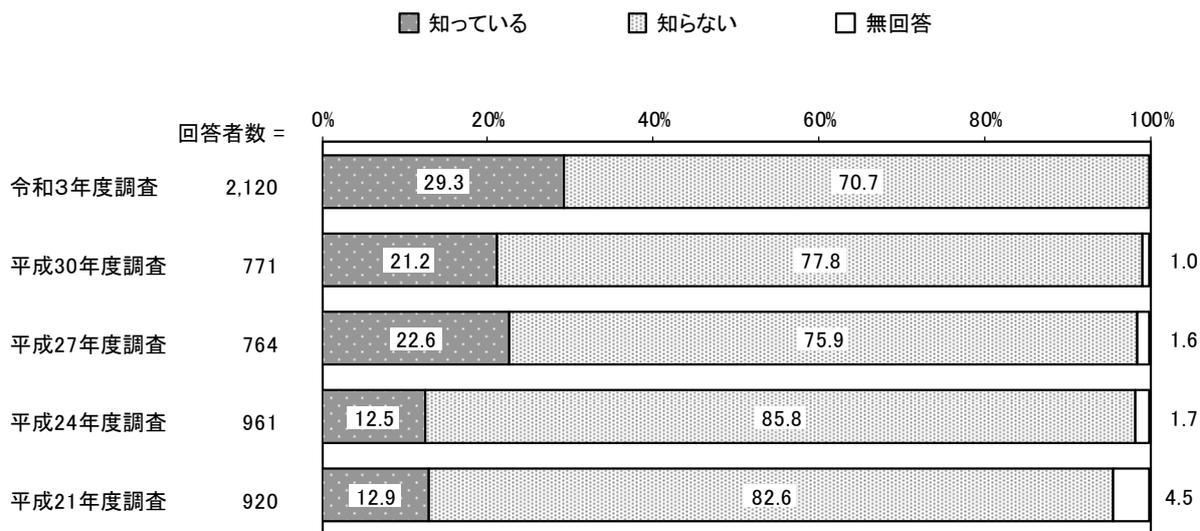
問 17 すべての方にお聞きします。あなたは、県立劇団 SPACをご存知ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選択してください。

「知っているし、実際に観劇したことがある」の割合が4.7%、「名前は知っているが、観劇したことはない」の割合が24.6%で、合計の割合（以下、「知っている」という）が29.3%となっています。一方、「知らない」の割合が70.7%となっています。



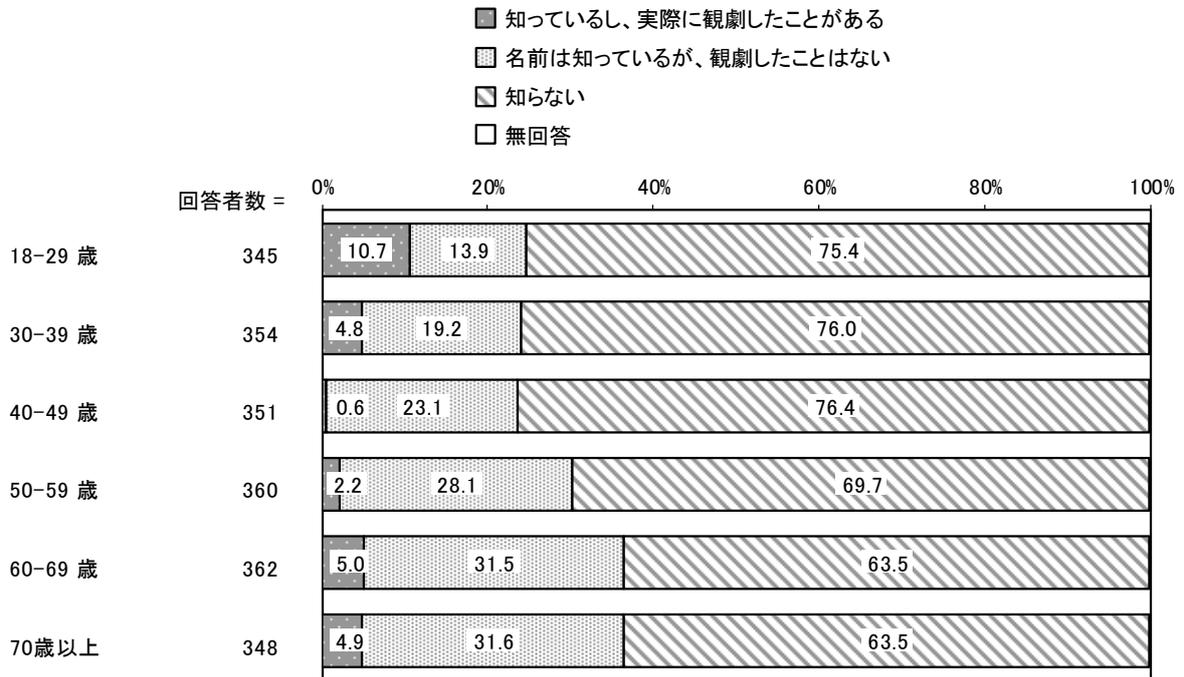
【経年比較】

過去の調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



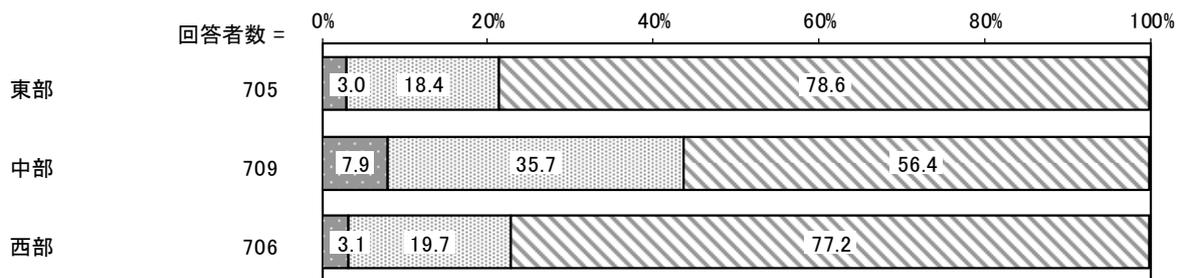
【年代別】

年代別でみると、18-29歳で「知っているし、実際に観劇したことがある」の割合が高くなっています。



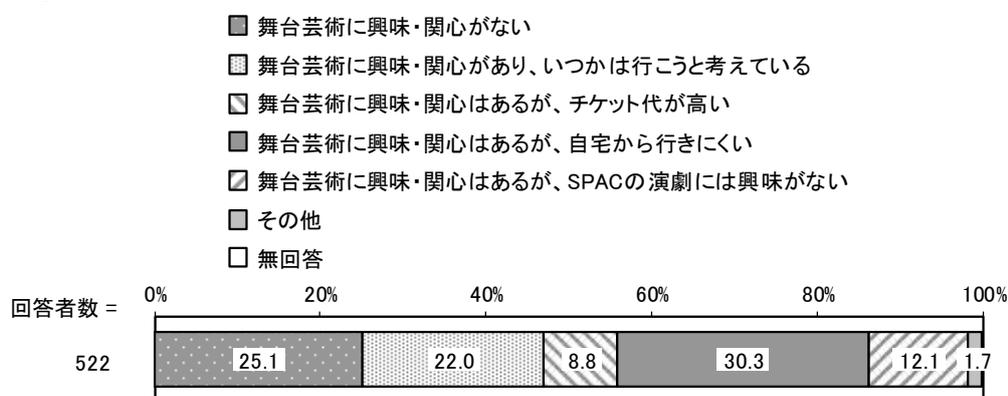
【エリア】

エリア別でみると、中部地域で「知っているし、実際に観劇したことがある」、「名前は知っているが、観劇したことはない」の割合が最も高くなっています。



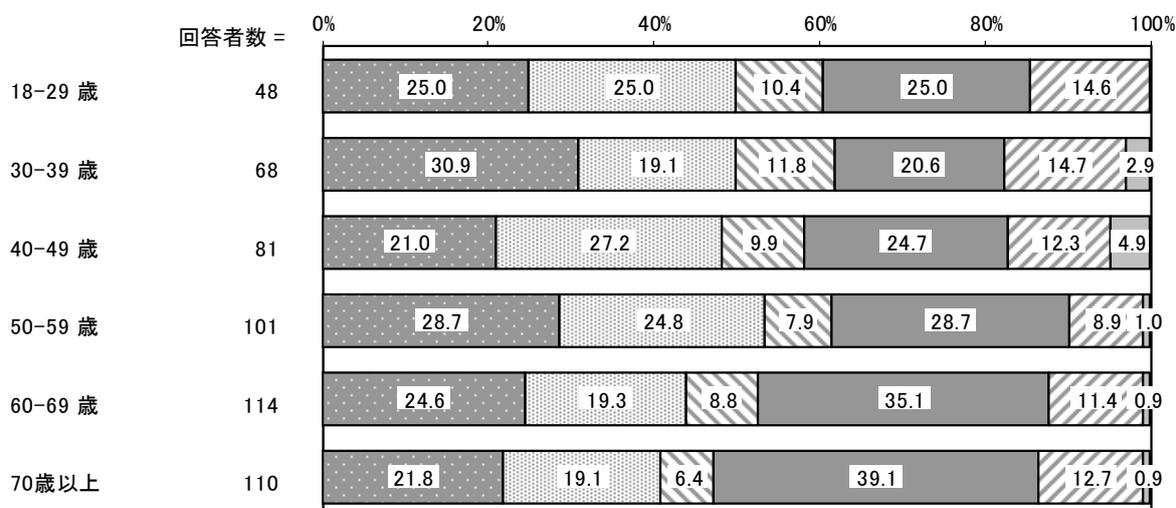
問 18 問 17で「名前は知っているが、観劇したことはない」と回答された方にお聞きします。観劇していない主な理由は何ですか。次の中から、当てはまるものを1つ選択してください。

「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」の割合が30.3%と最も高く、次いで「舞台芸術に興味・関心がない」の割合が25.1%、「舞台芸術に興味・関心があり、いつかは行こうと考えている」の割合が22.0%となっています。



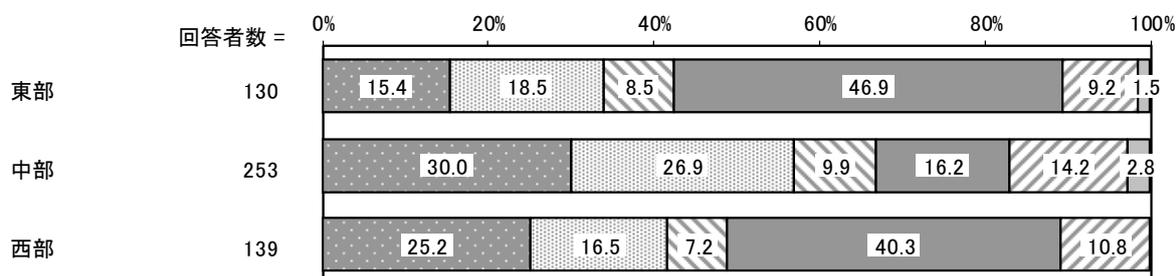
【年代別】

年代別でみると、50歳以上で「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」の割合が高くなる傾向にあります。



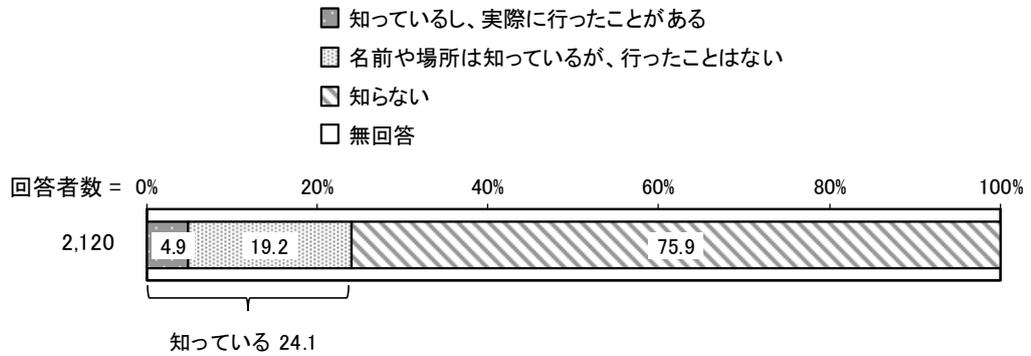
【エリア】

エリア別でみると、中部地域で「舞台芸術に興味・関心があり、いつかは行こうと考えている」の割合が高くなっています。また、東部地域で「舞台芸術に興味・関心がない」人の割合が少ない一方、「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」の割合が高くなっています。



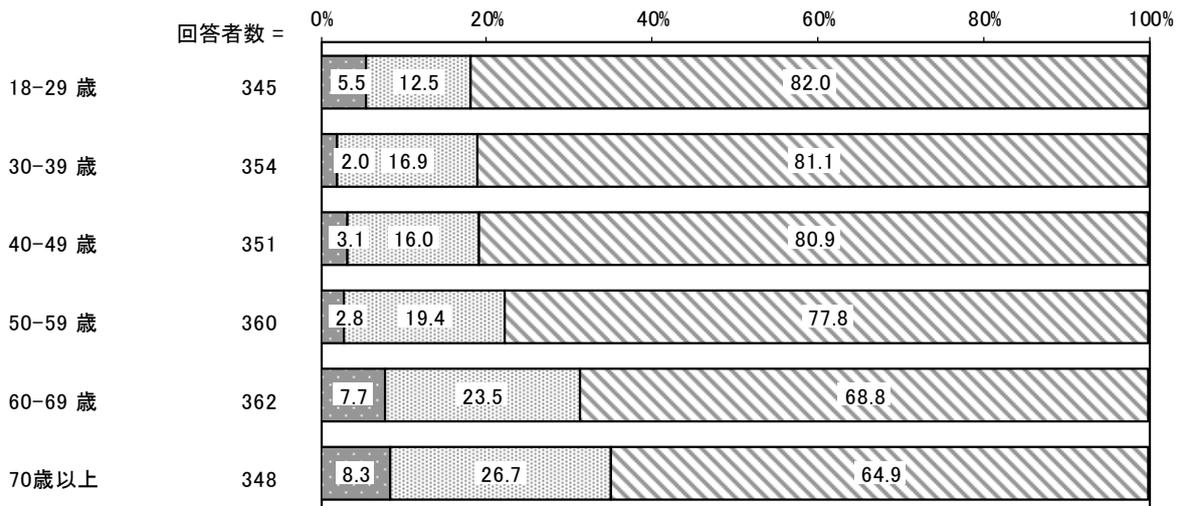
問 19 すべての方にお聞きします。あなたは、静岡県舞台芸術公園をご存じですか。次の中から、当てはまるものを1つ選択してください。

「知っているし、実際に行ったことがある」の割合が4.9%、「名前や場所は知っているが、行ったことはない」の割合が19.2%となっており、合計の割合（以下、「知っている」という）が24.1%となっています。一方、「知らない」の割合が75.9%となっています。



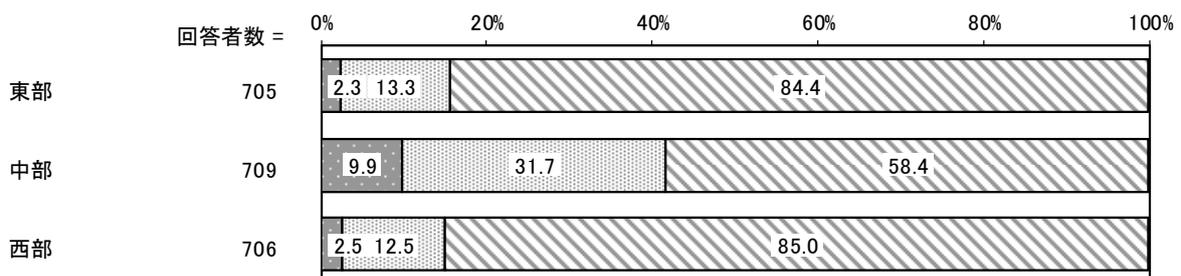
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「知らない」の割合が、低くなる傾向がみられます。



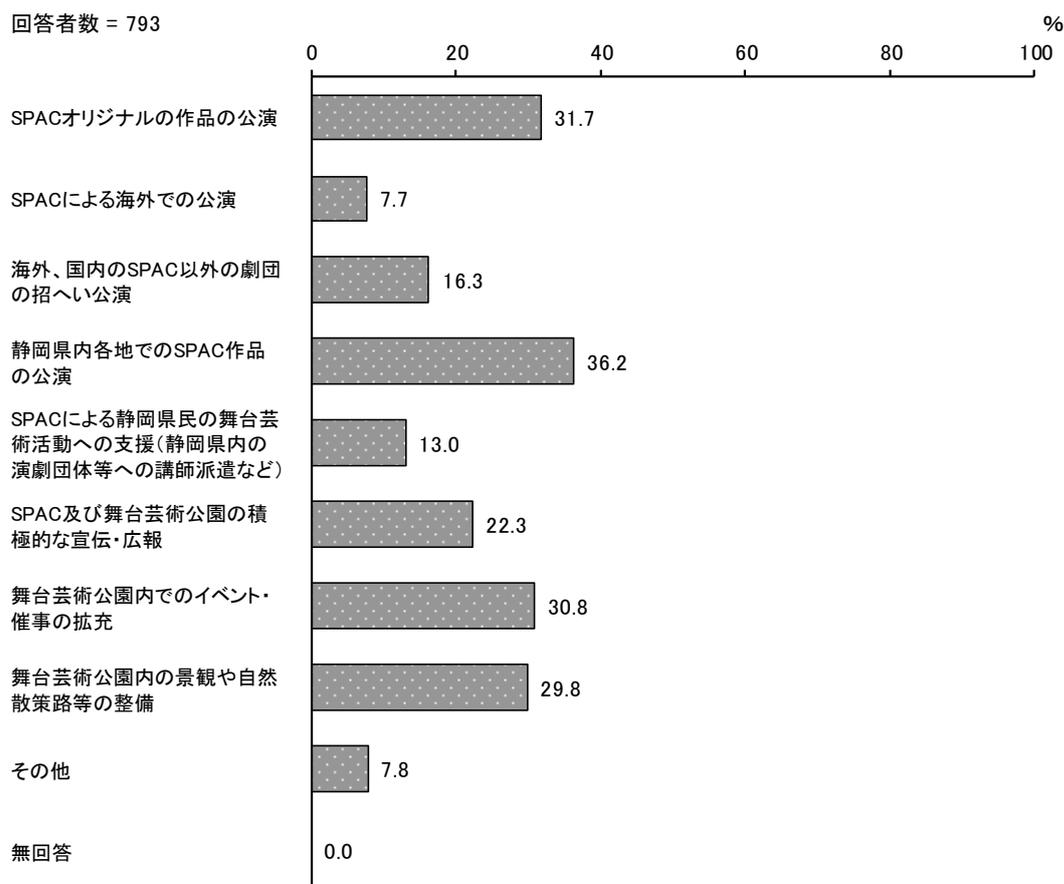
【エリア】

エリア別でみると、中部地域では「知らない」の割合が低くなっています。また、東部、西部では「知らない」の割合が高くなっており、それぞれ同程度の割合となっています。



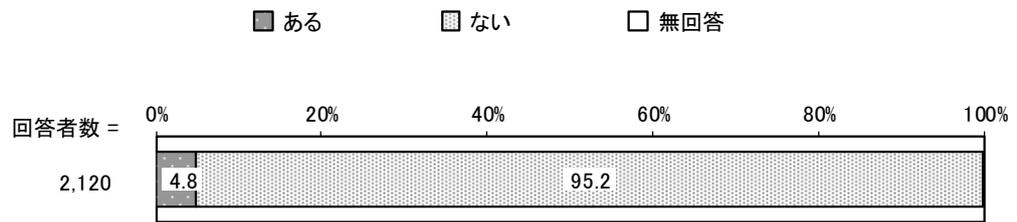
問 20 問 17 で県立劇団 SPAC を「1. 知っているし、実際に観劇したことがある」、「2. 名前は知っているが、観劇したことはない」のいずれか又は問 19 で静岡県舞台芸術公園を「1. 知っているし、実際に行ったことがある」、「2. 名前や場所は知っているが、行ったことはない」のいずれかに回答された方にお聞きします。あなたは、SPAC 及び舞台芸術公園にどのようなことを期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「静岡県内各地での SPAC 作品の公演」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「SPAC オリジナルの作品の公演」の割合が 31.7%、「舞台芸術公園内でのイベント・催事の拡充」の割合が 30.8%となっています。



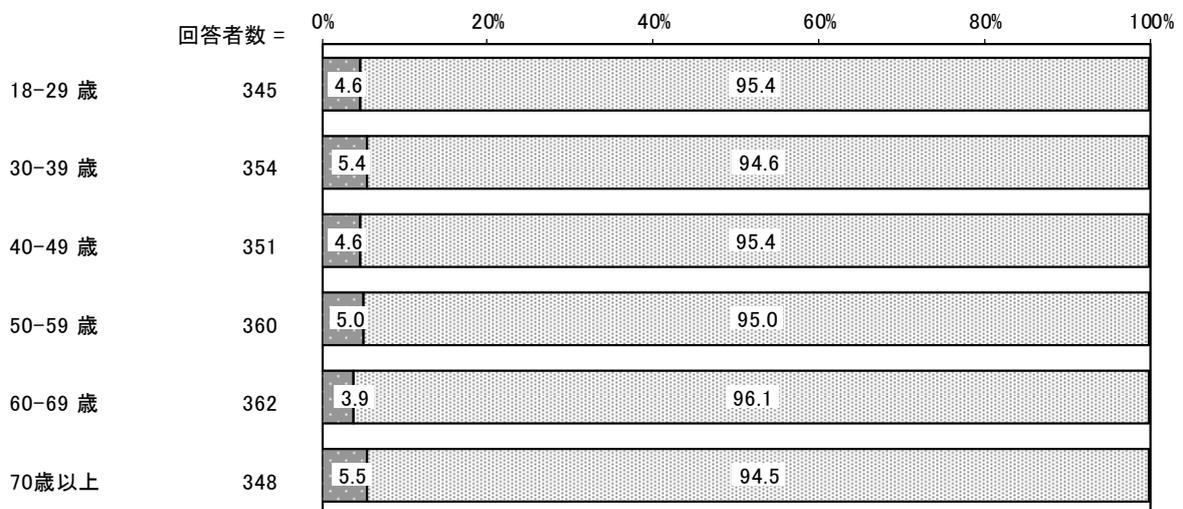
問 21 すべての方にお聞きします。あなたは、ふじのくに地球環境史ミュージアムに行った（利用した）ことがありますか。

「ある」の割合が4.8%、「ない」の割合が95.2%となっています。



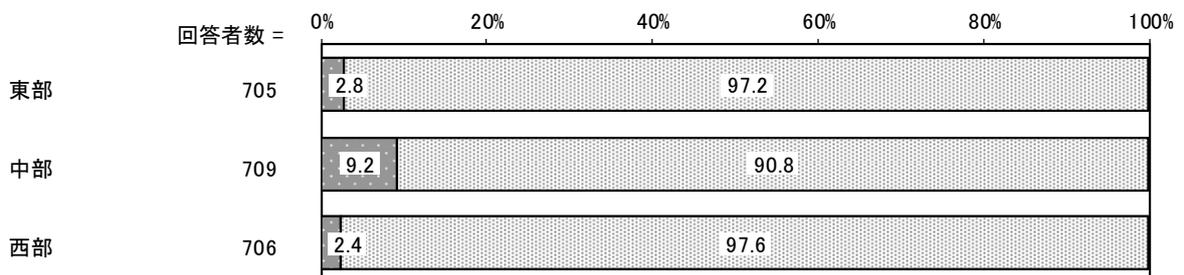
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられませんでした。



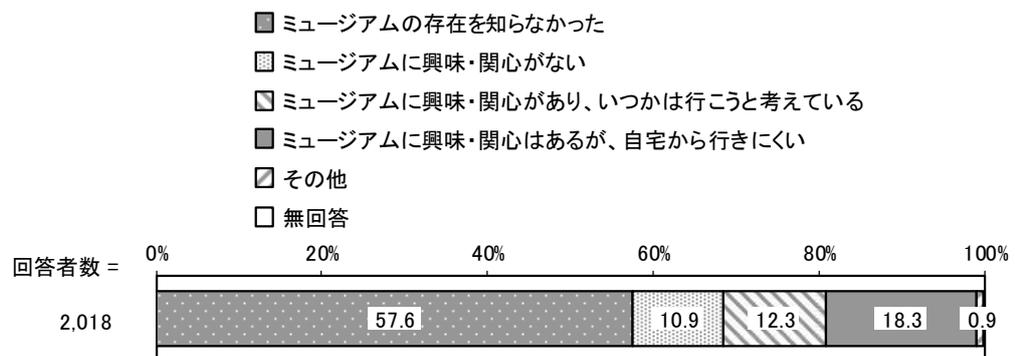
【エリア】

エリア別でみると、中部地域で「ある」の割合が高くなっています。



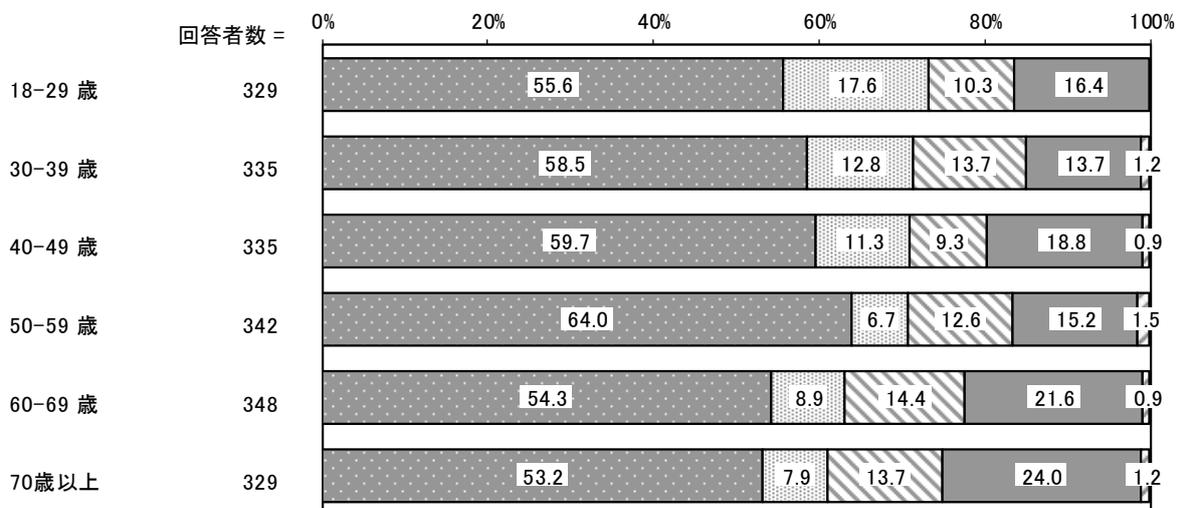
問22 問21で「2. ない」と回答された方にお聞きします。ふじのくに地球環境史ミュージアム（選択肢では、「ミュージアム」と省略して記載します。）に行った（利用した）ことがない主な理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選択してください。

「ミュージアムの存在を知らなかった」の割合が57.6%と最も高くなっています。また、「ミュージアムに興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」の割合が18.3%、「ミュージアムに興味・関心があり、いつかは行こうと考えている」の割合が12.3%となっています。



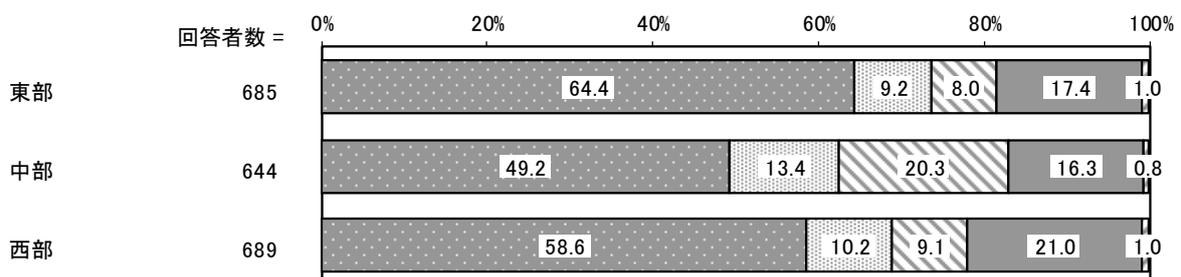
【年代別】

年代別でみると、60-69歳、70歳以上で「ミュージアムに興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」の割合が高くなっています。



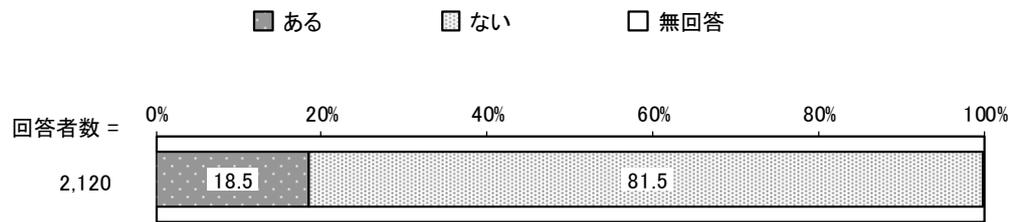
【エリア】

エリア別でみると、東部地域で「ミュージアムの存在を知らなかった」の割合が最も高くなっています。



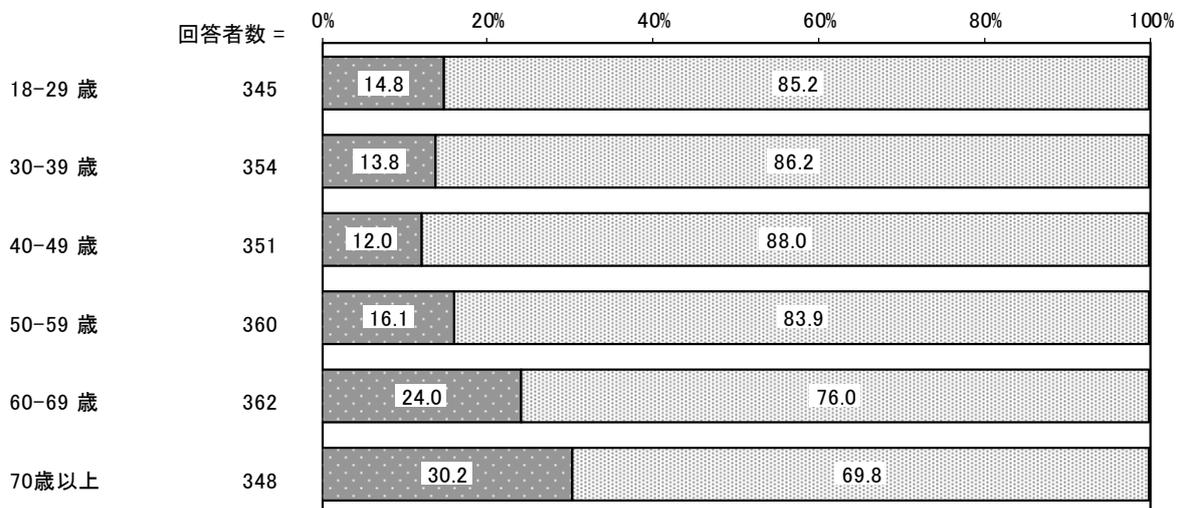
問 23 すべての方にお聞きします。あなたは、静岡県富士山世界遺産センターに行った（利用した）ことがありますか。

「ある」の割合が18.5%、「ない」の割合が81.5%となっています。



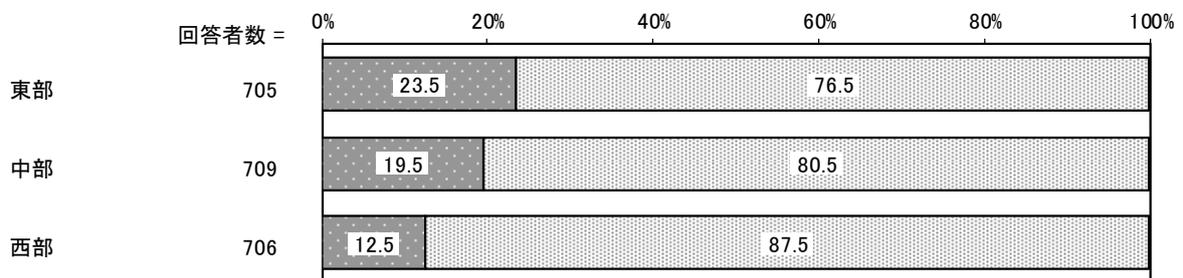
【年代別】

年代別でみると、40-49歳が最も「ある」の割合が低くなっています。



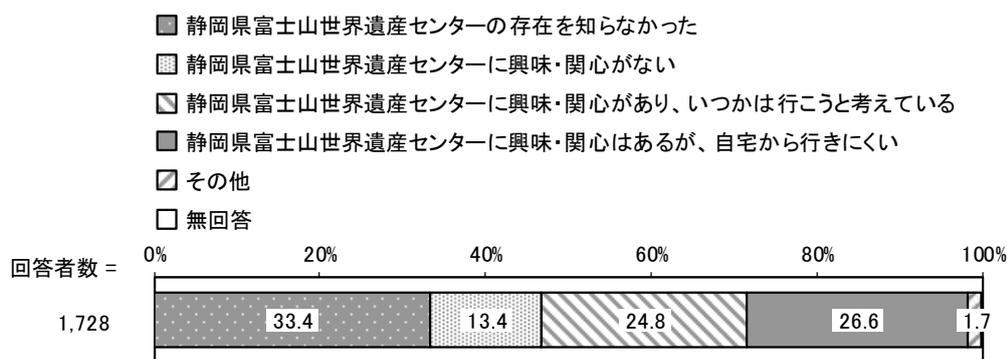
【エリア】

エリア別でみると、東部地域、中部地域、西部地域の順で「ある」の割合が高くなっています。



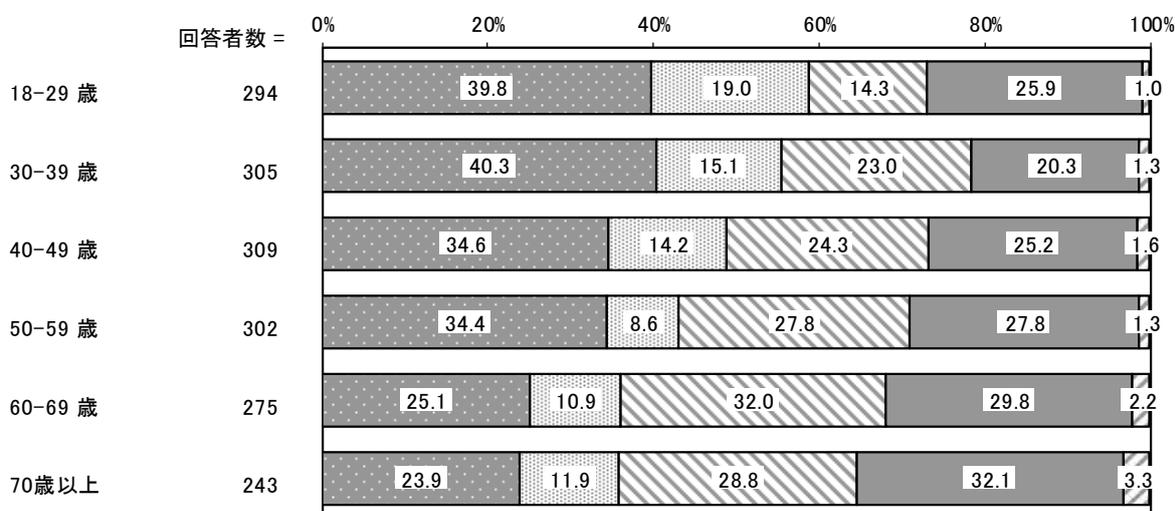
問 24 問 23 で「2. ない」と回答された方にお聞きします。静岡県富士山世界遺産センターに行った（利用した）ことがない主な理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「静岡県富士山世界遺産センターの存在を知らなかった」の割合が 33.4%と最も高くなっています。また、「静岡県富士山世界遺産センターに興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」の割合が 26.6%、「静岡県富士山世界遺産センターに興味・関心があり、いつかは行こうと考えている」の割合が 24.8%となっています。



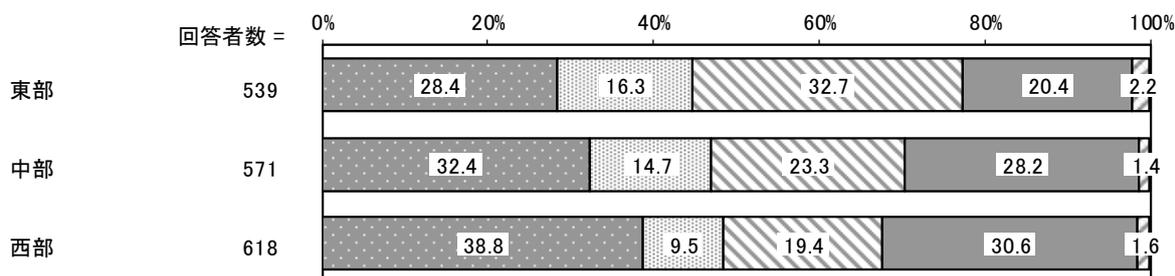
【年代別】

年代別でみると、若い世代ほど「静岡県富士山世界遺産センターの存在を知らなかった」の割合が高い傾向にあります。



【エリア】

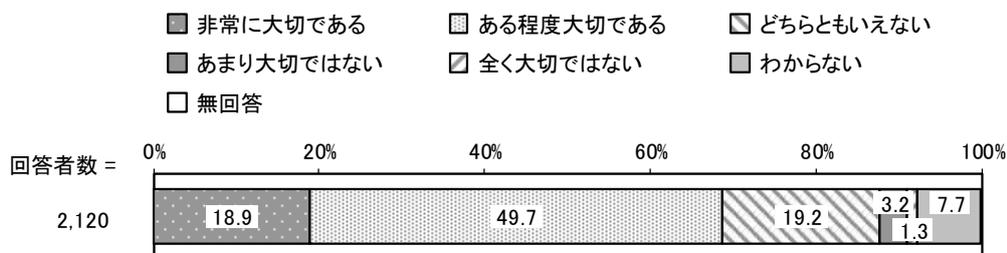
エリア別でみると、西部地域、中部地域、東部地域の順で「静岡県富士山世界遺産センターの存在を知らなかった」の割合が高くなっています。



5 静岡県の文化振興について

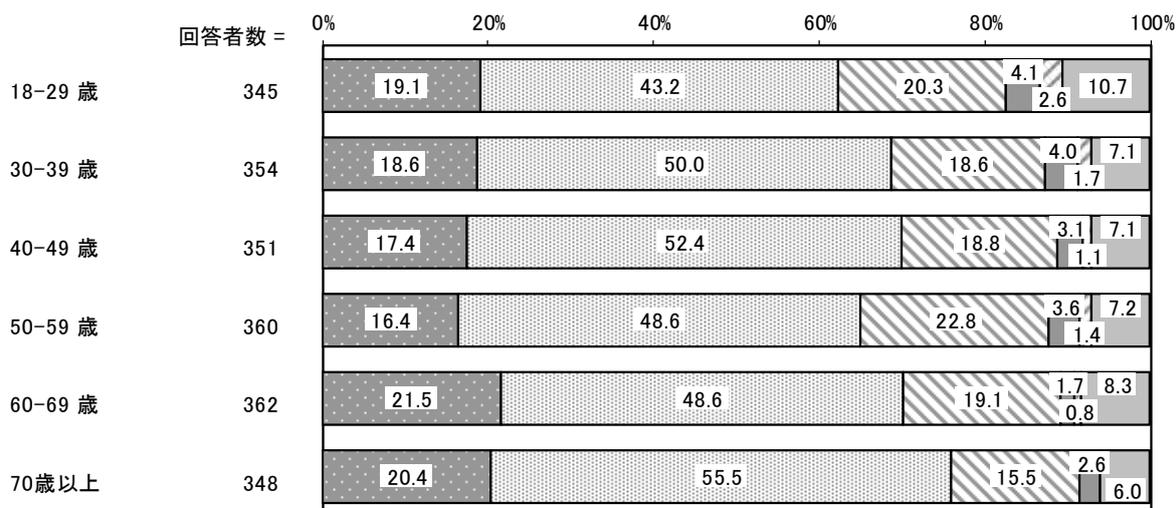
問 25 すべての方にお聞きします。あなたは、日常生活における文化・芸術に関する体験や活動を、どの程度大切だと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください。

「非常に大切である」の割合が 18.9%、「ある程度大切である」の割合が 49.7%で、合計で 68.6%となっています。



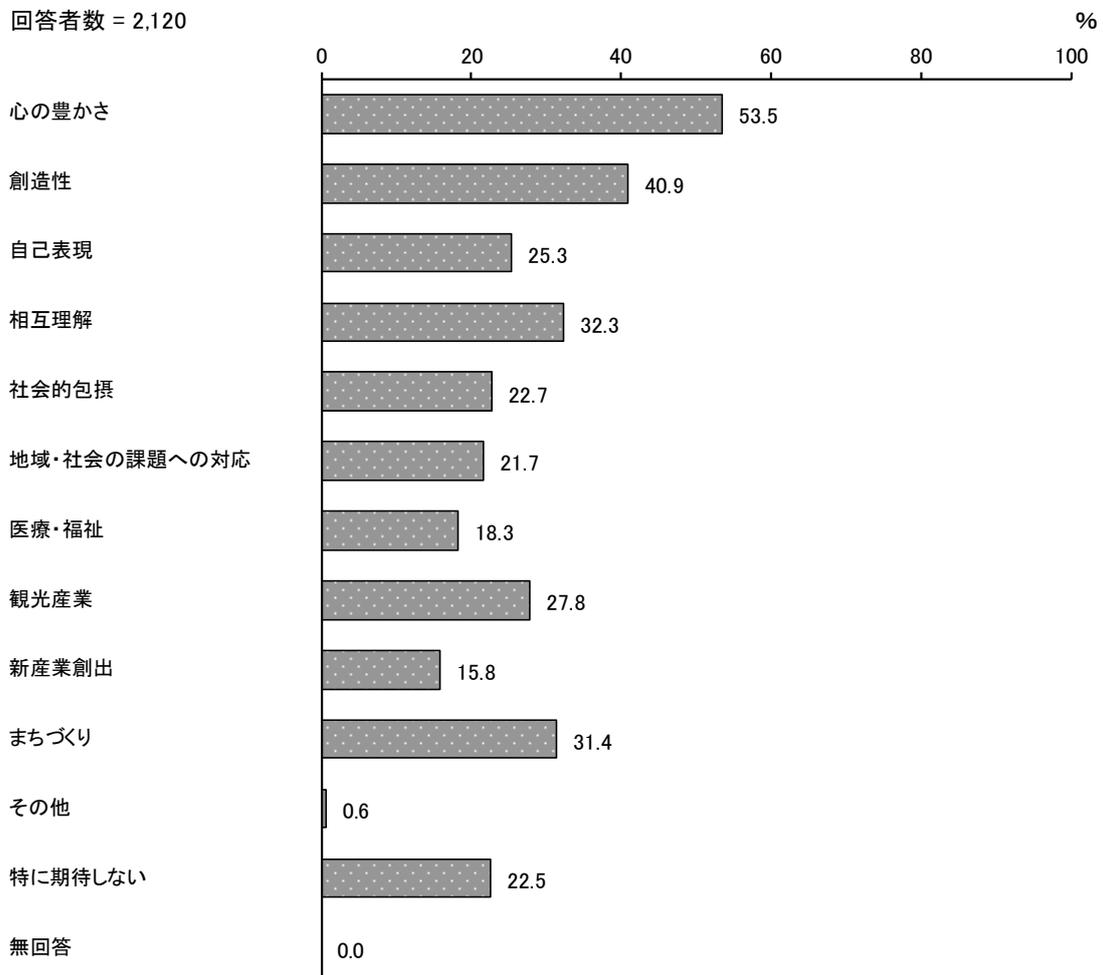
【年代別】

年代別でみると、70歳以上で「非常に大切である」及び「ある程度大切である」の合算の割合が 75.9%と、最も高くなっています。



問 26 すべての方にお聞きします。次の中で、あなたが文化に期待するものは何ですか。当てはまるものすべてを選択してください。

「心の豊かさ」の割合が53.5%と最も高く、次いで「創造性」の割合が40.9%、「相互理解」の割合が32.3%となっています。



【経年比較】

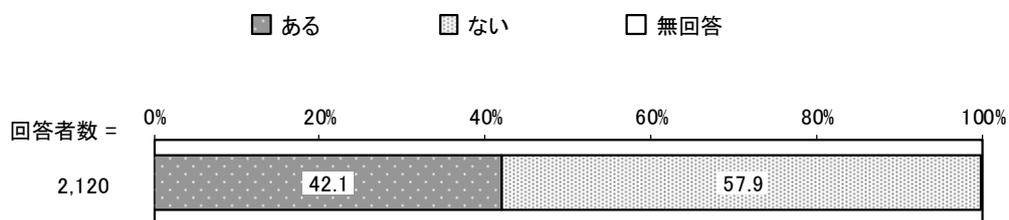
過去の調査と比較すると、「特に期待しない」の割合が増加し、他のほぼすべての項目で割合が減少しています。

単位：％

区分	平成 24 年度調査	平成 26 年度調査	平成 27 年度調査	平成 30 年度調査	令和 3 年度調査
心の豊かさ	79.9	76.2	77.6	75.7	53.5
創造性	48.9	48.4	53.7	50.1	40.9
自己表現	34.1	33.5	32.6	34.0	25.3
相互理解	47.4	44.8	46.8	43.8	32.3
社会的包摂	—	—	28.5	31.2	22.7
地域・社会の課題への対応	—	—	—	24.0	21.7
医療・福祉	29.8	25.9	29.5	29.6	18.3
観光産業	34.6	39.9	36.9	38.2	27.8
新産業創出	16.2	19.6	20.3	17.8	15.8
まちづくり	49.2	48.9	44.1	45.1	31.4
その他	1.2	0.8	1.1	1.4	0.6
特に期待しない	2.5	4.1	4.3	4.2	22.5
無回答	2.2	1.1	2.7	2.8	—

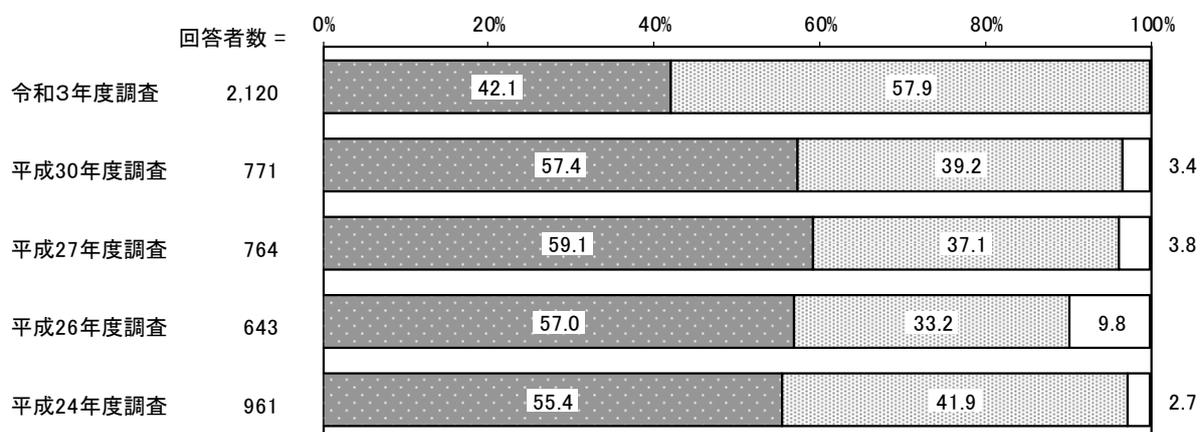
問 27 すべての方にお聞きします。あなたのお住まいの地域には、あなた自身が誇りに思う、よその地域の方に紹介したくなる文化資源（独特の文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など）がありますか。

「ある」の割合が42.1%、「ない」の割合が57.9%となっています。



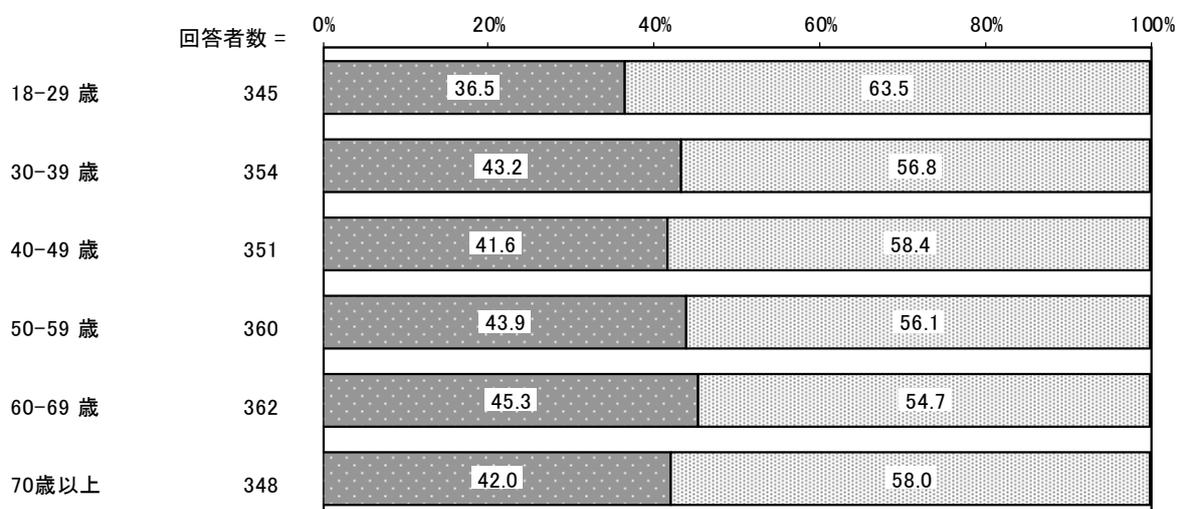
【経年比較】

過去の調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



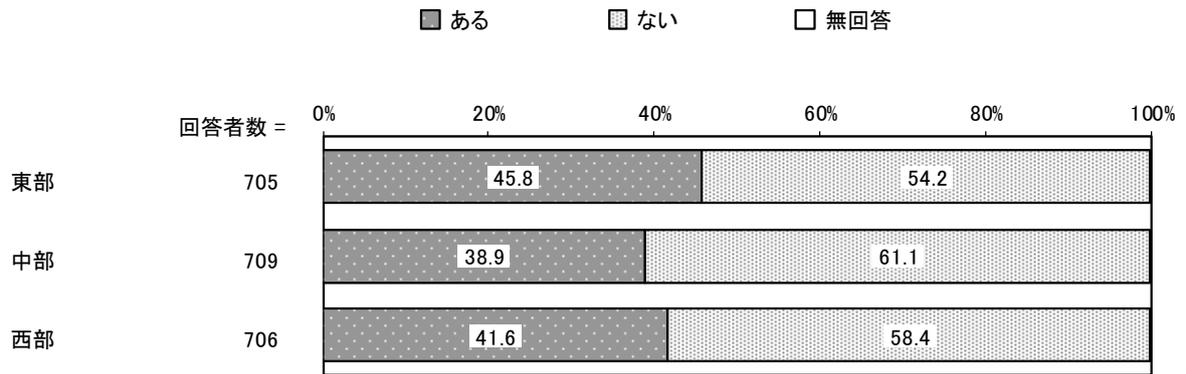
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられませんでした。



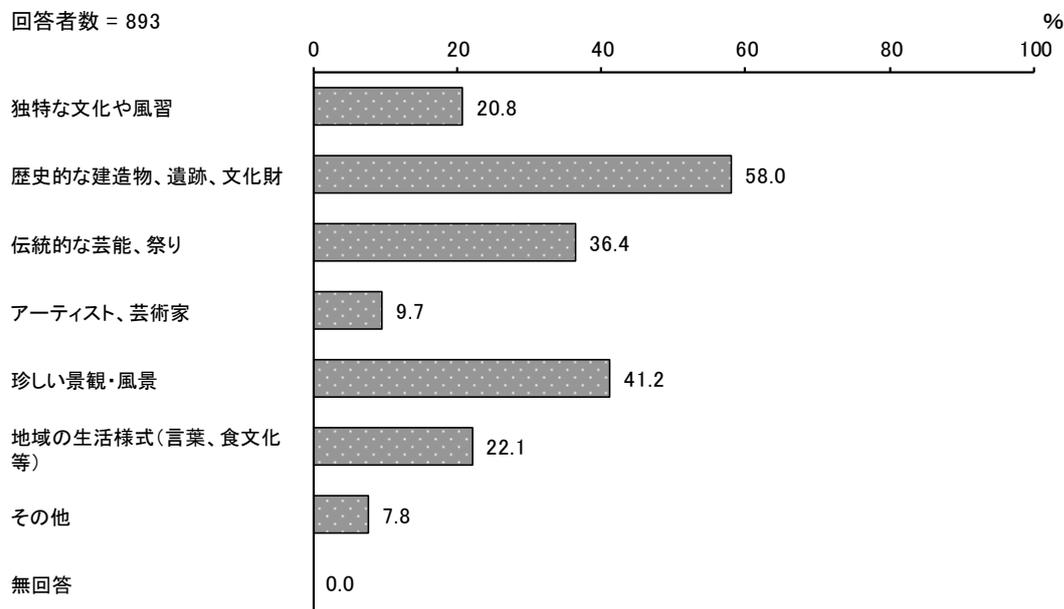
【エリア】

エリア別で見ると、東部地域、西部地域、中部地域の順に「ある」の割合が高くなっています。



問 28 問 27 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。それはどのようなものですか。次の中から当てはまるものすべてを選択してください。

「歴史的な建造物、遺跡、文化財」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「珍しい景観・風景」の割合が 41.2%、「伝統的な芸能、祭り」の割合が 36.4%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「珍しい景観・風景」、「地域の生活様式（言葉、食文化等）」の割合が特に増加しています。

単位：%

区分	平成24年度調査	平成26年度調査	平成27年度調査	平成30年度調査	令和3年度調査
独特な文化や風習	23.9	17.6	15.6	15.7	20.8
歴史的な建造物、遺跡、文化財	64.9	80.0	47.3	46.3	58.0
伝統的な芸能、祭り	—	13.2	46.4	50.0	36.4
アーティスト、芸術家	8.3	4.3	4.1	5.5	9.7
珍しい景観・風景	39.2	35.5	34.7	33.0	41.2
地域の生活様式(言葉、食文化等)	15.7	10.7	15.1	15.9	22.1
その他	5.9	2.4	1.5	2.8	7.8
無回答	1.1	—	0.4	0.5	—

【年代別】

年代別でみると、30-39歳で「地域の生活様式（言葉、食文化等）」の割合が高くなっています。また、18-29歳で「歴史的な建造物、遺跡、文化財」、「伝統的な芸能、祭り」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	独特な文化や風習	歴史的な建造物、遺跡、文化財	伝統的な芸能、祭り	アーティスト、芸術家	珍しい景観・風景	地域の生活様式（言葉、食文化等）	その他	無回答
18-29歳	126	14.3	46.0	21.4	4.0	43.7	15.1	8.7	—
30-39歳	153	19.6	54.2	35.9	8.5	47.1	31.4	5.9	—
40-49歳	146	17.1	55.5	36.3	11.0	36.3	24.7	4.1	—
50-59歳	158	22.8	62.0	46.8	13.9	46.8	25.9	8.9	—
60-69歳	164	23.8	61.6	34.1	11.6	39.6	19.5	9.8	—
70歳以上	146	26.0	66.4	41.1	8.2	33.6	14.4	9.6	—

【エリア】

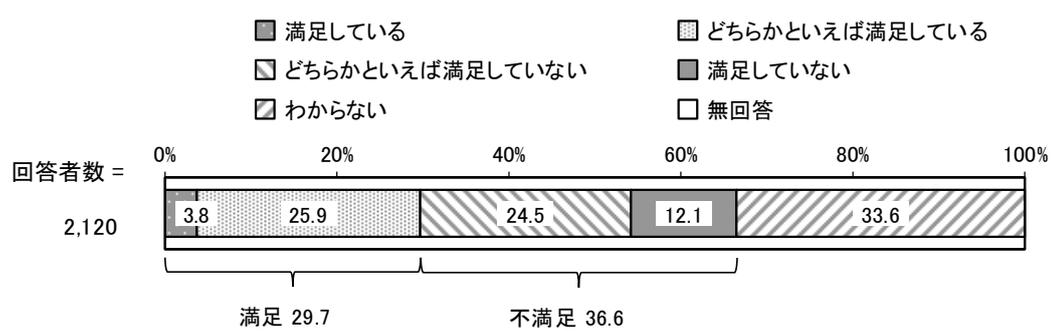
エリア別でみると、「独特な文化や風習」、「伝統的な芸能、祭り」、「アーティスト、芸術家」、「地域の生活様式（言葉、食文化等）」は西部地域が最も高く、中部地域、東部地域の順に割合が減少しており、西高東低の傾向があります。一方で「珍しい景観・風景」の割合は、東部地域が最も高く、中部地域、西部地域の順に割合が減少しており、東高西低の傾向があります。また、「歴史的な建造物、遺跡、文化財」の割合は中部地域が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	独特な文化や風習	歴史的な建造物、遺跡、文化財	伝統的な芸能、祭り	アーティスト、芸術家	珍しい景観・風景	地域の生活様式（言葉、食文化等）	その他	無回答
東部	323	16.7	55.4	27.6	7.7	54.2	18.3	7.7	—
中部	276	21.0	63.8	30.4	9.4	38.4	23.9	7.6	—
西部	294	25.2	55.4	51.7	12.2	29.6	24.5	8.2	—

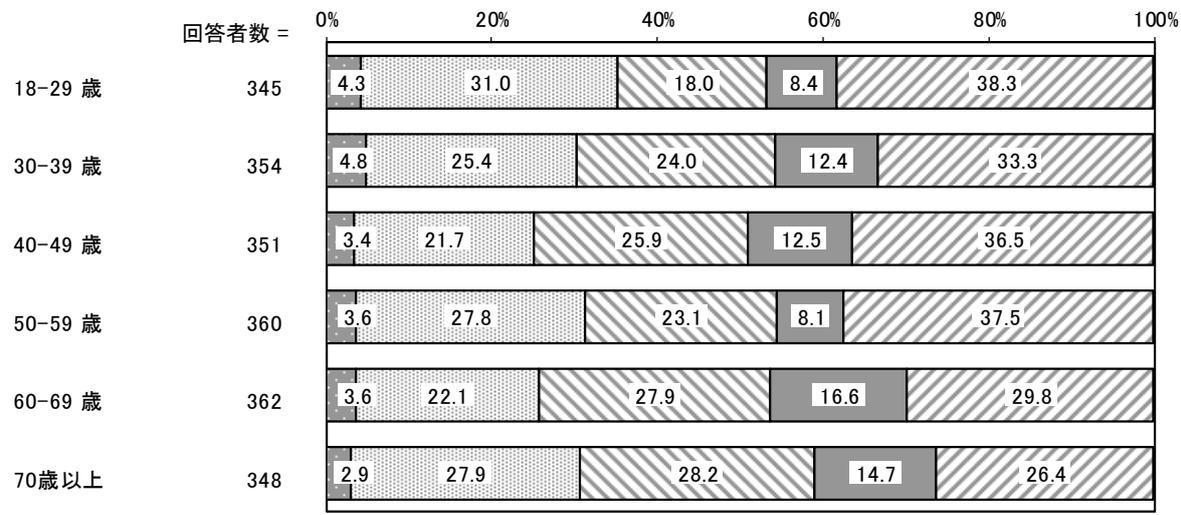
問 29 すべての方にお聞きします。あなたは、文化・芸術を鑑賞したり習い事をする機会や、文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。次の中から、あなたの状況に最も近いものを1つ選択してください。

「満足している」の割合が3.8%、「どちらかといえば満足している」の割合が25.9%で、両方の合計（以下、「満足」という）が29.7%となっています。一方で「どちらかといえば満足していない」の割合が24.5%、「満足していない」の割合が12.1%で、両方の合計（以下、「不満足」という）が36.6%となっています。また、「わからない」の割合が33.6%となっています。



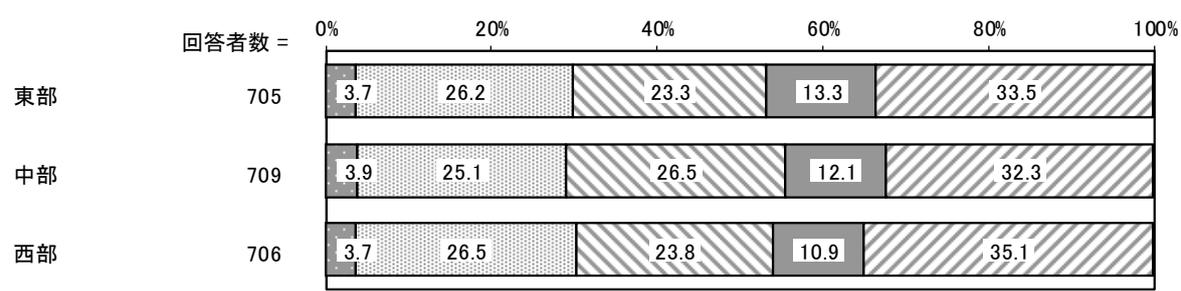
【年代別】

年代別でみると、18-29歳と50-59歳で、「満足」の割合が「不満足」の割合を上回っています。
 18-29歳の「満足」の割合35.3% > 「不満足」の割合26.4%
 50-59歳の「満足」の割合31.4% > 「不満足」の割合31.2%



【エリア】

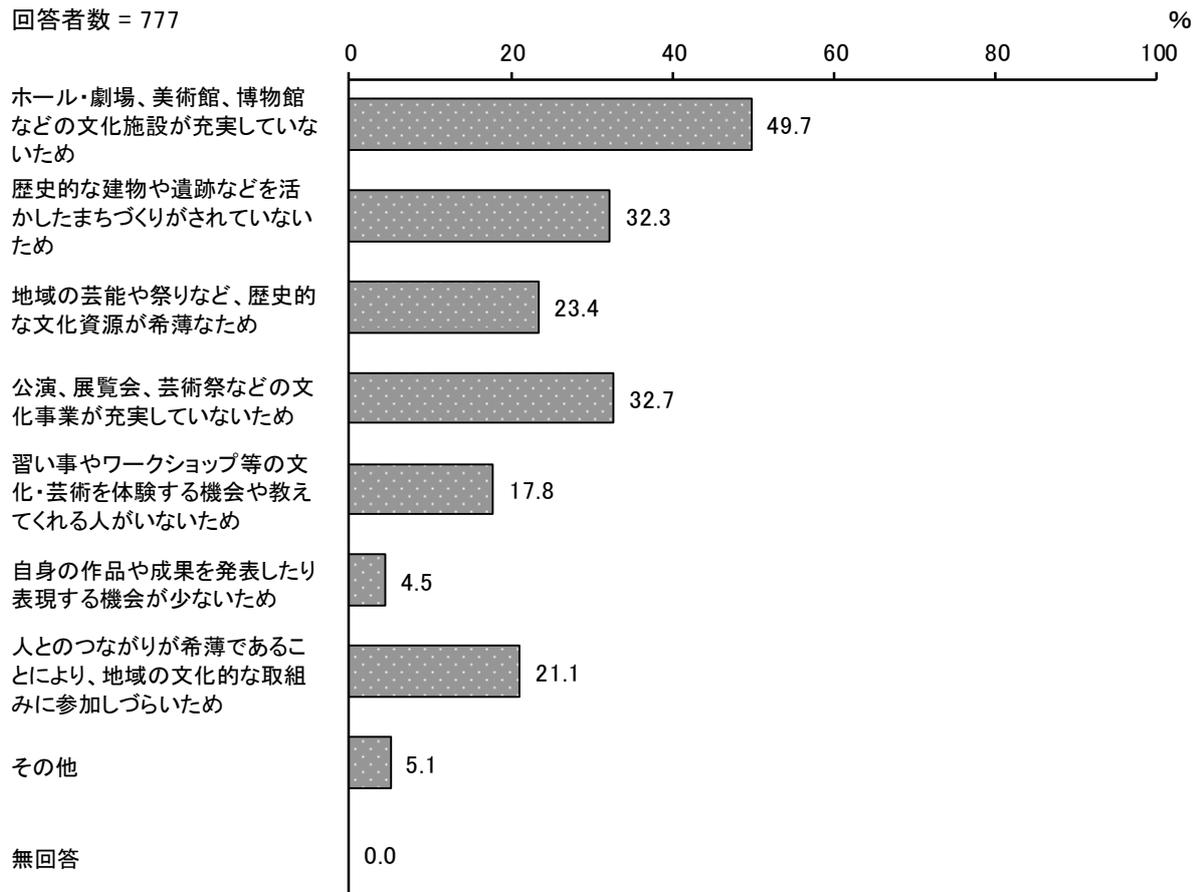
エリア別でみると、大きな差異はみられませんでした。



問 30 問 29 で「3. どちらかといえば満足していない」、「4. 満足していない」と回答された方にお聞きします。あなたが、お住まいの地域での文化的な環境に満足していないのはなぜですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業が充実していないため」の割合が 32.7%、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりがされていないため」の割合が 32.3%となっています。

回答者数 = 777



【年代別】

年代別でみると、60-69歳で「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため」、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業が充実していないため」の割合が高くなっています。また、30-39歳で「習い事やワークショップ等の文化・芸術を体験する機会や教えてくれる人がいないため」の割合が高くなっており、それより高齢の年代では減少傾向となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりがされていないため	地域の芸能や祭りなど、歴史的な文化資源が希薄なため	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業が充実していないため	習い事やワークショップ等の文化・芸術を体験する機会や教えてくれる人がいないため	自身の作品や成果を発表したり表現する機会が少ないため	人とのつながりが希薄であることにより、地域の文化的な取り組みに参加しづらいため	その他	無回答
18-29歳	91	44.0	20.9	27.5	26.4	22.0	6.6	25.3	1.1	—
30-39歳	129	50.4	27.9	20.2	26.4	27.9	7.0	27.1	7.0	—
40-49歳	135	46.7	28.1	20.7	25.9	18.5	5.2	19.3	7.4	—
50-59歳	112	46.4	39.3	21.4	34.8	15.2	3.6	20.5	5.4	—
60-69歳	161	61.5	34.8	25.5	42.2	16.8	3.7	21.7	1.9	—
70歳以上	149	45.0	38.9	25.5	36.2	8.7	2.0	14.8	7.4	—

【エリア】

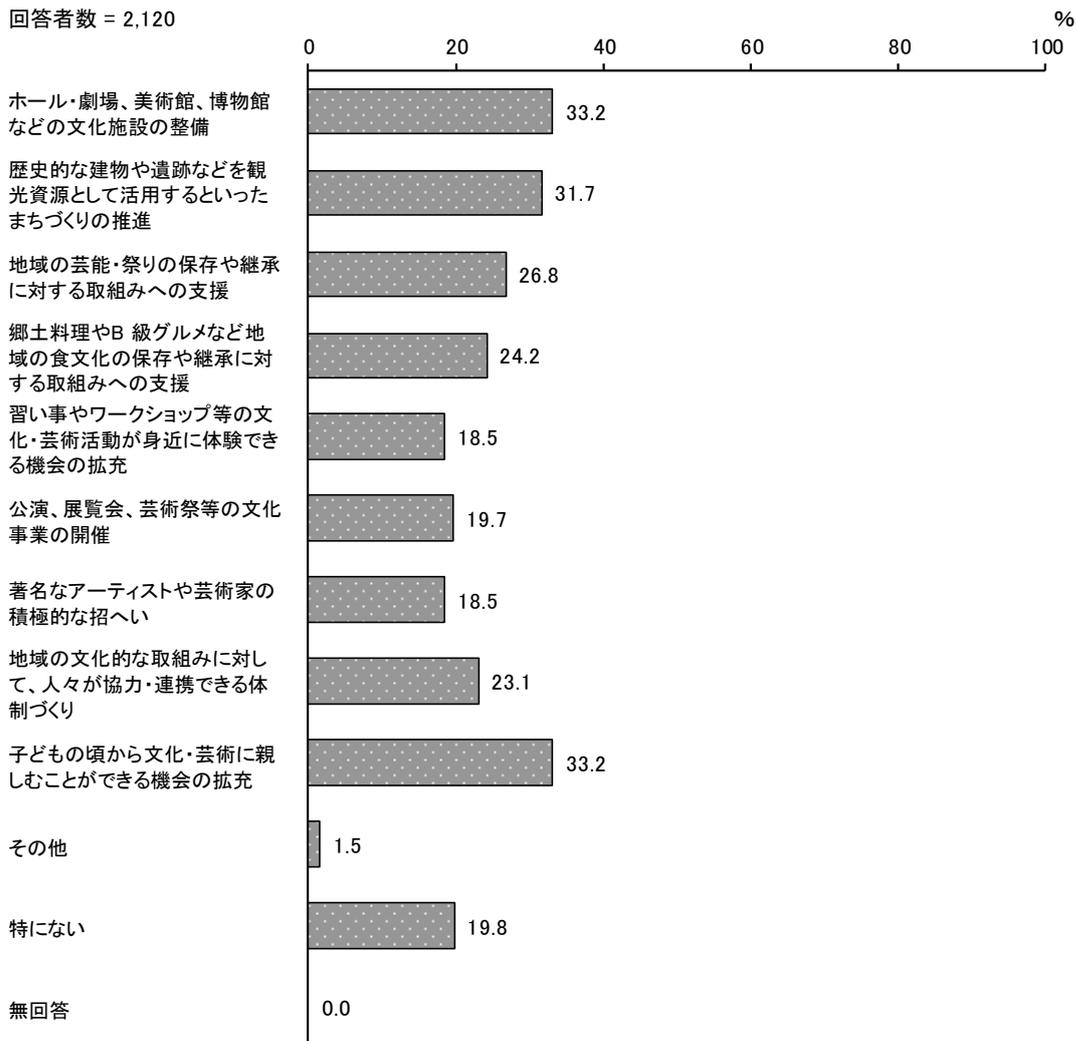
エリア別でみると、東部地域で「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため」の割合が高くなっています。また、西部地域で「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業が充実していないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりがされていないため	地域の芸能や祭りなど、歴史的な文化資源が希薄なため	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業が充実していないため	習い事やワークショップ等の文化・芸術を体験する機会や教えてくれる人がいないため	自身の作品や成果を発表したり表現する機会が少ないため	人とのつながりが希薄であることにより、地域の文化的な取り組みに参加しづらいため	その他	無回答
東部	258	58.1	33.7	24.8	32.6	19.8	3.9	17.4	2.7	—
中部	274	42.7	35.0	26.3	28.1	18.6	6.6	22.3	6.2	—
西部	245	48.6	27.8	18.8	38.0	14.7	2.9	23.7	6.5	—

問 31 すべての方にお聞きします。あなたは、地域の文化的な環境の満足度向上のために、何が重要だと感じますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設の整備」及び「子どもの頃から文化・芸術に親しむことができる機会の拡充」の割合が共に 33.2%と最も高くなっています。次いで「歴史的な建物や遺跡などを観光資源として活用するといったまちづくりの推進」の割合が 31.7%となっています。



【年代別】

年代別でみると、60歳以上で、「特にない」の割合が少なく、特に70歳以上で「地域の芸能・祭りの保存や継承に対する取組みへの支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設の整備	歴史的な建物や遺跡などを観光資源として活用するといったまちづくりの推進	地域の芸能・祭りの保存や継承に対する取組みへの支援	郷土料理や四級グルメなど地域の食文化の保存や継承に対する取組みへの支援	習い事やワークショップ等の文化・芸術活動が身近に体験できる機会の拡充	公演、展覧会、芸術祭等の文化事業の開催	著名なアーティストや芸術家の積極的な招へい	地域の文化的な取組みに対して、人々が協力・連携できる体制づくり	子どもの頃から文化・芸術に親しむことができる機会の拡充	その他	特にない	無回答
18-29歳	345	30.1	20.6	23.2	27.8	20.9	18.3	21.4	15.9	24.1	0.6	28.4	—
30-39歳	354	35.0	26.6	25.1	28.5	25.7	17.5	20.6	21.8	40.1	2.0	19.2	—
40-49歳	351	31.6	28.5	25.1	25.4	16.8	16.8	17.9	20.2	34.8	0.6	23.4	—
50-59歳	360	31.4	34.2	25.6	25.6	16.9	18.6	20.3	24.7	30.3	1.1	20.3	—
60-69歳	362	34.5	41.2	28.2	21.0	17.4	22.7	17.7	30.1	37.0	1.9	14.6	—
70歳以上	348	36.5	38.8	33.6	17.0	13.2	24.4	13.2	25.3	32.5	2.6	12.9	—

【エリア】

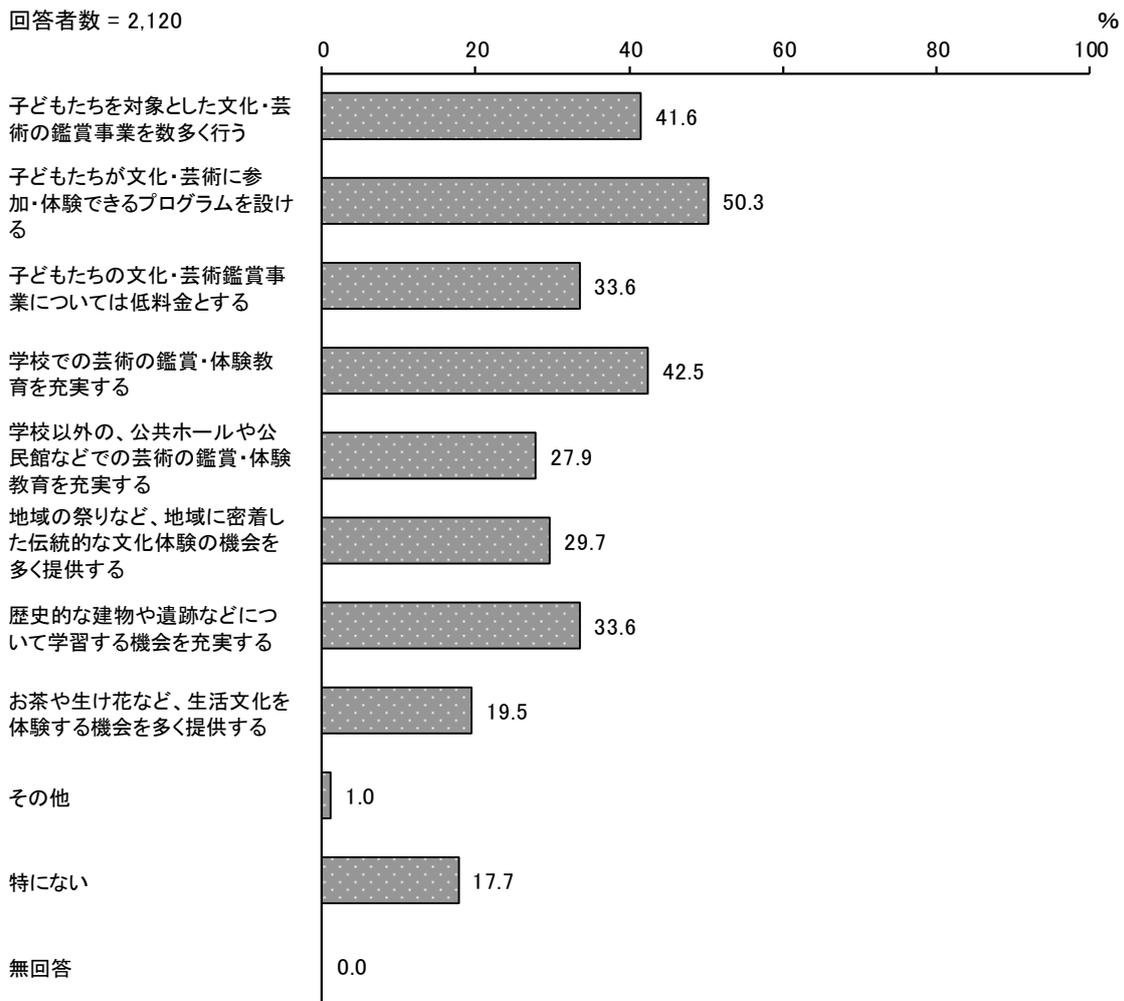
エリア別でみると、大きな差異はみられませんでした。

単位：％

区分	回答者数(件)	ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設の整備	歴史的な建物や遺跡などを観光資源として活用するといったまちづくりの推進	地域の芸能・祭りの保存や継承に対する取組みへの支援	郷土料理や四級グルメなど地域の食文化の保存や継承に対する取組みへの支援	習い事やワークショップ等の文化・芸術活動が身近に体験できる機会の拡充	公演、展覧会、芸術祭等の文化事業の開催	著名なアーティストや芸術家の積極的な招へい	地域の文化的な取組みに対して、人々が協力・連携できる体制づくり	子どもの頃から文化・芸術に親しむことができる機会の拡充	その他	特にない	無回答
東部	705	33.9	29.2	24.7	24.5	17.9	19.9	17.6	23.1	32.5	1.7	19.7	—
中部	709	32.4	32.9	27.4	24.8	18.8	18.8	18.5	23.4	33.1	1.3	19.0	—
西部	706	33.3	33.0	28.3	23.2	18.8	20.5	19.5	22.7	33.9	1.4	20.5	—

問 32 すべての方にお聞きします。静岡県では、子どもの頃に様々な文化・芸術に触れる機会の充実を図ることを、重点施策の1つに挙げています。あなたは、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたいと思いますか。次の中から当てはまるものすべてを選択してください。

「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」の割合が50.3%と最も高く、次いで「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」の割合が42.5%、「子どもたちを対象とした文化・芸術の鑑賞事業を数多く行う」の割合が41.6%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、すべての項目で割合は減少していますが、「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」、「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」は高い割合で推移しています。

単位：％

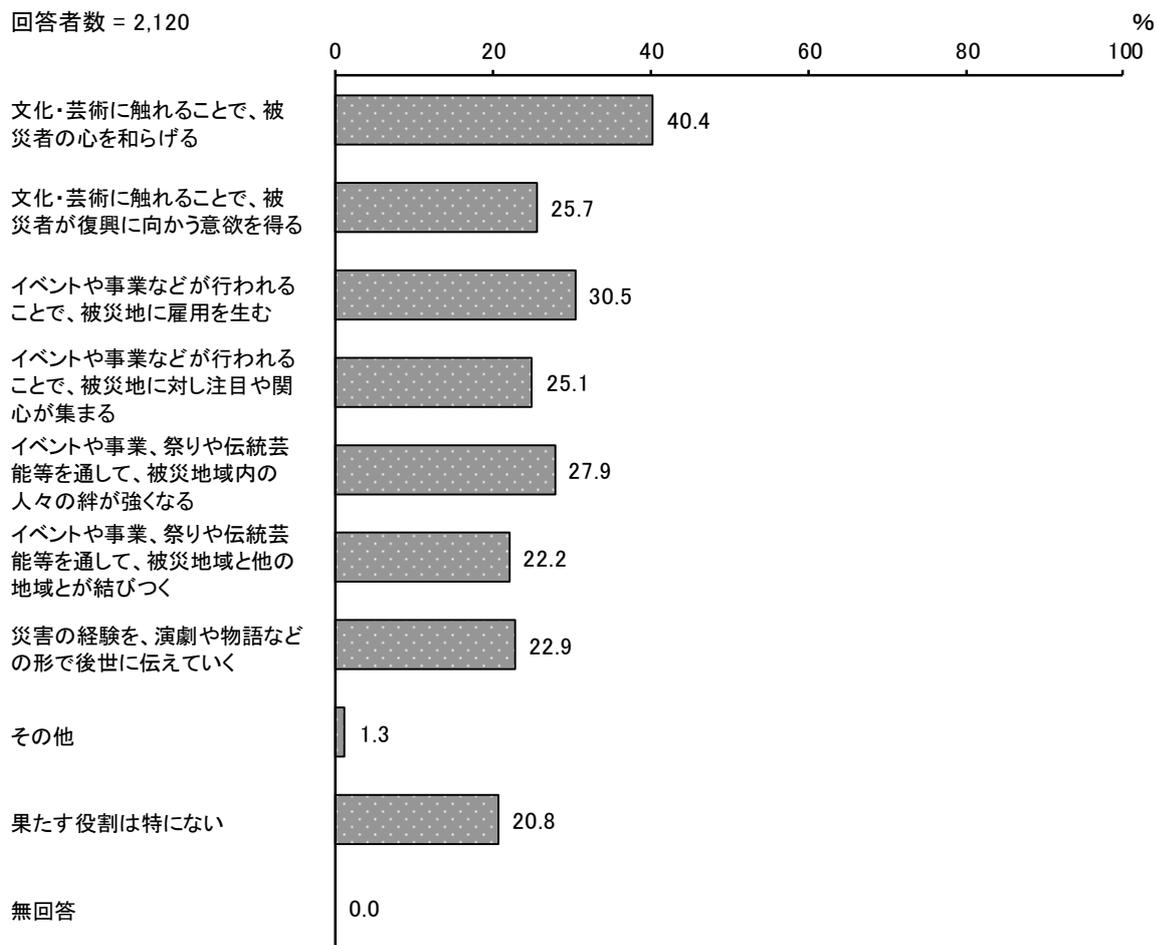
区分	平成24年度調査	平成27年度調査	平成30年度調査	令和3年度調査
子どもたちを対象とした文化・芸術の鑑賞事業を数多く行う	42.0	49.5	49.0	41.6
子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける	69.4	55.6	56.6	50.3
子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする	38.9	49.2	43.1	33.6
学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する	61.1	56.7	52.0	42.5
学校以外の、公共ホールや公民館などでの芸術の鑑賞・体験教育を充実する	—	31.9	30.8	27.9
地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する	43.1	36.7	35.9	29.7
歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する	42.8	43.7	38.6	33.6
お茶や生け花など、生活文化を体験する機会を多く提供する	—	25.3	23.0	19.5
その他	2.8	3.3	1.7	1.0
特になし	1.9	1.5	3.7	17.7
わからない	3.2	4.3	—	—
無回答	0.8	3.8	4.6	—

問 33 すべての方にお聞きします。あなたは、災害（地震、津波、水害等）発生時や発生後において、文化・芸術は、どのような役割を果たすと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」の割合が40.4%と最も高く、次いで「イベントや事業などが行われることで、被災地に雇用を生む」の割合が30.5%、「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地域内の人々の絆が強くなる」の割合が27.9%となっています。

なお、全体のうち、災害発生時や発生後に文化・芸術が『役割を果たす』と回答した人の割合は79.2%となっています。

回答者数 = 2,120



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「イベントや事業などが行われることで、被災地に雇用を生む」の割合が増加しています。

単位：％

区分	平成27年度調査	平成30年度調査	令和3年度調査※
文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる	77.4	70.1	51.1(40.4)
文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る	46.0	49.9	32.5(25.7)
イベントや事業などが行われることで、被災地に雇用を生む	37.3	36.2	38.6(30.5)
イベントや事業などが行われることで、被災地に対し注目や関心が集まる	34.1	38.9	31.7(25.1)
イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地域内の人々の絆が強くなる	50.2	48.5	35.2(27.9)
イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地域と他の地域とが結びつく	38.6	34.9	28.0(22.2)
災害の経験を、演劇や物語などの形で後世に伝えていく	31.0	32.5	28.9(22.9)
その他	1.6	1.9	1.6(1.3)
果たす役割は特でない	15.1	18.0	20.8(20.8)

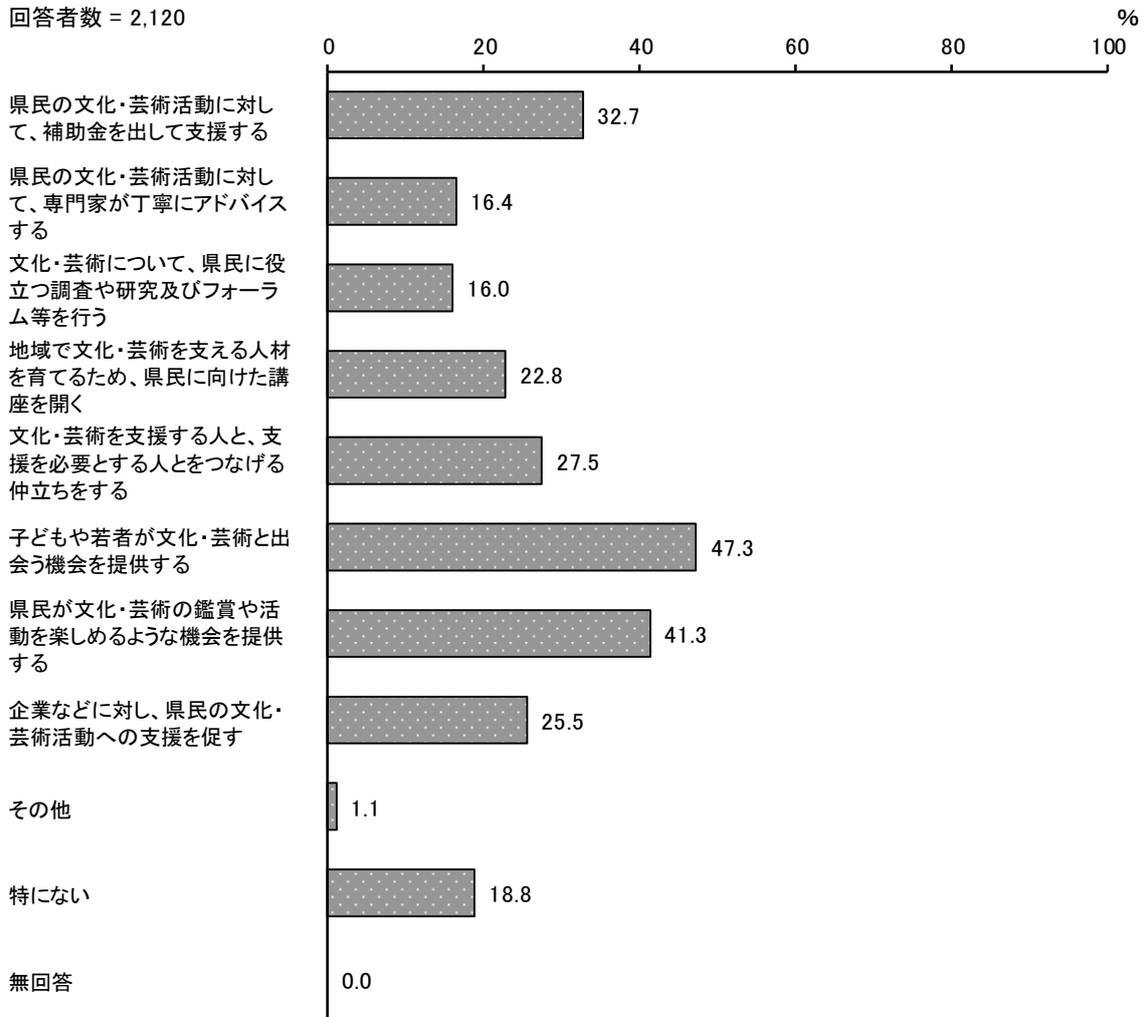
※平成30年度調査までは、「文化・芸術が災害時に果たす役割の有無」と「役割の内容」を別々に調査しており、『果たす役割がある』と回答した人のうち、該当する内容の回答者の割合が示されています。

令和3年度調査は、同じ設問で「文化・芸術が災害時に果たす役割の有無」と「役割の内容」を調査しており、実数は『果たす役割がある』と回答した人のうち、該当の内容に対する回答者の割合を示し、()内は全回答者数に対する割合を示しています。

問 34 すべての方にお聞きします。あなたは、文化・芸術振興のため、静岡県は今後どのようなことに力を入れていくべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する」の割合が47.3%と最も高く、次いで「県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供する」の割合が41.3%、「県民の文化・芸術活動に対して、補助金を出して支援する」の割合が32.7%となっています。

回答者数 = 2,120



【経年比較】

前回調査と比較すると、「文化・芸術について、県民に役立つ調査や研究及びフォーラム等を行う」の割合が増加しています。また、「子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する」、「県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供する」は他の項目より割合が高く、「子どもや若者」に向けた事業や「鑑賞・活動機会の提供」といった取組みが重要と考えられています。

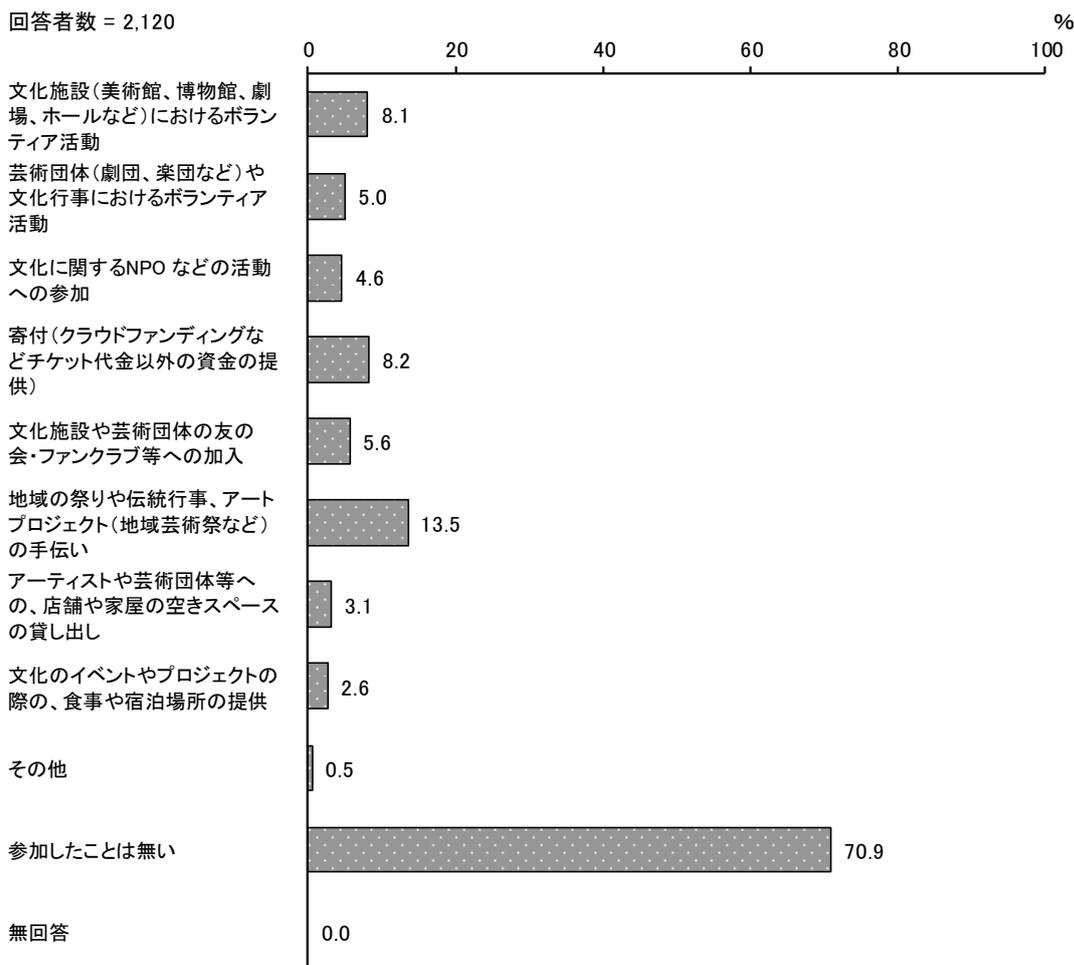
単位：％

区分	平成30年度調査	令和3年度調査
県民の文化・芸術活動に対して、補助金を出して支援する	35.3	32.7
県民の文化・芸術活動に対して、専門家が丁寧にアドバイスする	23.2	16.4
文化・芸術について、県民に役立つ調査や研究及びフォーラム等を行う	15.5	16.0
地域で文化・芸術を支える人材を育てるため、県民に向けた講座を開く	28.1	22.8
文化・芸術を支援する人と、支援を必要とする人とをつなげる仲立ちをする	28.0	27.5
子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する	63.6	47.3
県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供する	54.8	41.3
企業などに対し、県民の文化・芸術活動への支援を促す	27.0	25.5
その他	1.6	1.1
特になし	5.8	18.8
無回答	2.5	—

問 35 すべての方にお聞きします。あなたは、文化・芸術に対する支援活動（ボランティアや寄付など）に参加したことがありますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「参加したことは無い」の割合が70.9%と最も高くなっています。参加した内容では、「地域の祭りや伝統行事、アートプロジェクト（地域芸術祭など）の手伝い」の割合が13.5%と、最も高くなっています。

なお、全体のうち、文化・芸術に対する支援活動に『参加したことがある人』の割合は29.1%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「参加したことは無い」が減少しており、文化・芸術に対する支援活動への参加者は増加傾向にあります。

また、前回調査と比べて「地域の祭りや伝統行事、アートプロジェクト（地域芸術祭など）の手伝い」は大幅に割合が減少しています。

単位：％

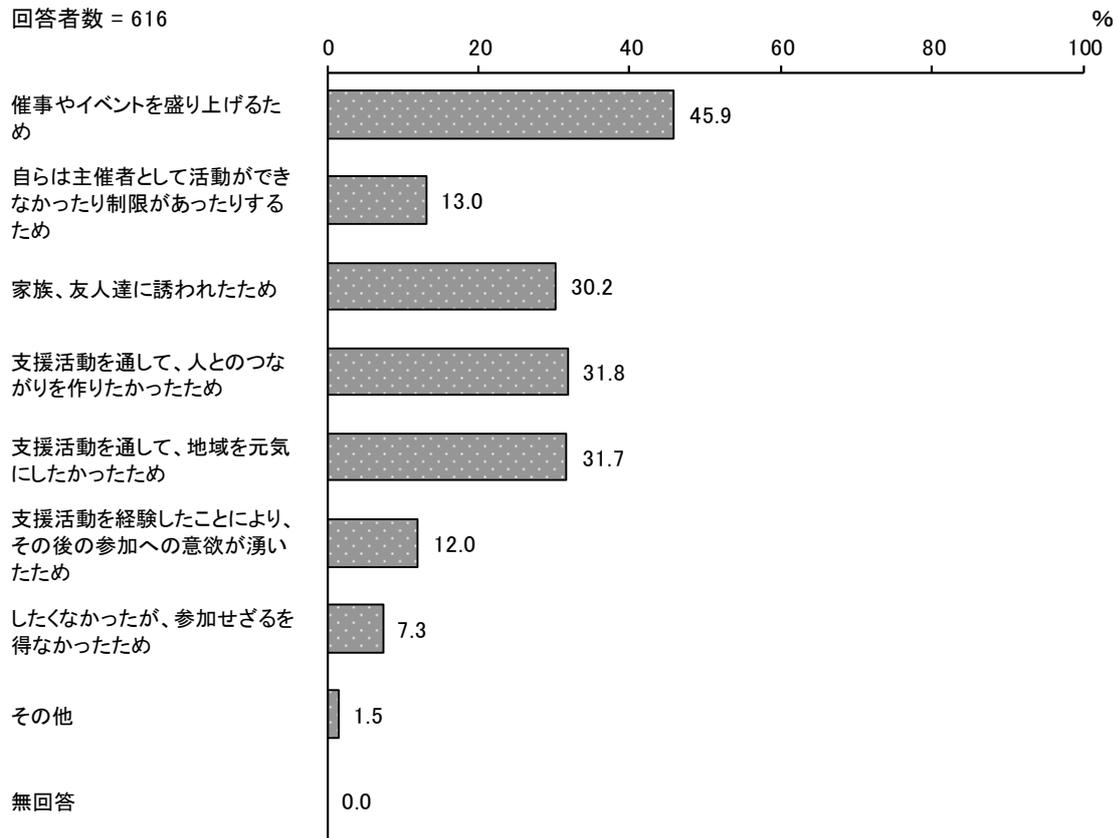
区分	平成 24 年度調査	平成 27 年度調査	平成 30 年度調査	令和 3 年度調査※
文化施設(美術館、博物館、劇場、ホールなど)におけるボランティア活動	29.5	14.8	24.1	27.8 (8.1)
芸術団体(劇団、楽団など)や文化行事におけるボランティア活動	18.5	12.7	12.6	17.4 (5.0)
文化に関するNPO などの活動への参加	17.1	10.6	7.8	15.7 (4.6)
寄付(クラウドファンディングなどチケット代金以外の資金の提供)	31.3	25.1	22.0	28.2 (8.2)
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	35.4	17.8	19.2	19.3 (5.6)
地域の祭りや伝統行事、アートプロジェクト(地域芸術祭など)の手伝い	—	70.1	75.1	46.4(13.5)
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	—	1.9	2.1	10.7 (3.1)
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	—	3.2	0.4	8.9 (2.6)
その他	6.0	2.1	3.3	1.6 (0.5)
参加したことは無い	92.5	78.3	75.4	70.9(70.9)

※平成30年度調査までは、文化・芸術に対する支援活動への「参加の有無」と「参加した内容」を別々に調査しており、『参加したことがある』人のうち、該当する内容の回答者の割合が示されています。

令和3年度調査は、同じ設問で「参加の有無」と「参加した内容」を調査しており、実数は『参加したことがある』人のうち、該当の内容に対する回答者の割合を示し、()内は全回答者数に対する割合を示しています。

問 36 問 35 で「選択肢 1～9」と回答された方にお聞きします。あなたが文化に対する支援活動をする理由は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

「催事やイベントを盛り上げるため」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「支援活動を通して、人とのつながりを作りたかったため」の割合が 31.8%、「支援活動を通して、地域を元気にしたかったため」の割合が 31.7%となっています。



【経年比較】

過去の調査と比較すると、「催事やイベントを盛り上げるため」、「支援活動を通して、人とのつながりを作りたかったため」で割合が減少しています。

単位：％

区分	平成 27 年度調査	平成 30 年度調査	令和 3 年度調査
催事やイベントを盛り上げるため	53.7	52.9	45.9
自らは主催者として活動ができなかったり制限があったりするため	18.2	12.6	13.0
家族、友人達に誘われたため	36.6	30.5	30.2
支援活動を通して、人とのつながりを作りたかったため	40.4	37.4	31.8
支援活動を通して、地域を元気にしたかったため	—	—	31.7
支援活動を経験したことにより、その後の参加への意欲が湧いたため	12.5	17.6	12.0
したくなかったが、参加せざるを得なかったため	9.9	6.2	7.3
その他	2.3	5.5	1.5
無回答	1.3	2.1	—

問7

すべての方にお聞きします。あなたは、障害のある人に対して、文化・芸術活動を通じて理解を深めるために、必要と思うことは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

1. 展示会や発表会などの発表機会の拡大
2. 障害のある人の文化・芸術活動の情報発信
3. 健常者と障害のある人が一緒に創作活動や発表を行うなどの機会や体験の拡大
4. 文化・芸術の創作活動を行うための福祉サービス事業所等での専門人材の養成
5. 企業や団体による活動に対するバックアップ
6. 創作された作品や表現に対する正当な評価や価値の判断
7. 文化・芸術活動を担う障害のある人の創作人口の拡大
8. その他 ()
9. 特にない・わからない

問8

すべての方にお聞きします。新型コロナウイルス感染症発生に伴って、あなたが文化・芸術を鑑賞する機会に変化は生じましたか。

メディア及び会場等での直接の鑑賞機会の変化について、あなたの状況にいちばん近い状態をそれぞれ1つ選択してください。

手法	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. 元々鑑賞していない
メディアでの鑑賞機会				
直接の鑑賞機会				

◎「県立劇団 SPAC」及び「静岡県舞台芸術公園」についてお尋ねします。

県立劇団 SPAC

平成7年に舞台芸術の創造活動を通じて静岡県の芸術文化の振興を図るため、静岡県の出資により設立された劇団。グランシップや静岡県舞台芸術公園の中に専用の劇場や稽古場を持ち、世界的なレベルの舞台芸術作品を生み出しています。毎年「ふじのくにせかい演劇祭」等を開催し、また、静岡県内の中学生、高校生を無料で劇場に招待する「中高生舞台芸術鑑賞事業」も行っているほか、海外において公演することで静岡県のPRにつなげています。



(c) SPAC



問17 すべての方にお聞きします。あなたは、県立劇団 SPACをご存知ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選択してください。

1. 知っているし、実際に観劇したことがある
2. 名前は知っているが、観劇したことはない
3. 知らない

問18 問17で「2. 名前は知っているが、観劇したことはない」と回答された方にお聞きします。観劇していない主な理由は何ですか。次の中から、当てはまるものを1つを選択してください。

1. 舞台芸術に興味・関心がない
2. 舞台芸術に興味・関心があり、いつかは行こうと考えている
3. 舞台芸術に興味・関心はあるが、チケット代が高い
4. 舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい
5. 舞台芸術に興味・関心はあるが、SPACの演劇には興味がない
6. その他（具体的に： _____）

静岡県舞台芸術公園（静岡市駿河区平沢）

日本平の中腹にある静岡県舞台芸術公園は、グランシップ内の静岡芸術劇場と並ぶ SPAC-静岡県舞台芸術センターの活動拠点として、静岡から世界へ一流の舞台芸術作品を発信しています。東京ドームの約4倍という敷地には自然林と茶畑が広がり、野外劇場や稽古場棟などが点在しているほか、園内は自由散策でき、無料休憩所「カチカチ山」では SPAC の活動も紹介しています。



問 19 すべての方にお聞きします。あなたは、静岡県舞台芸術公園をご存じですか。次の中から、当てはまるものを1つ選択してください。

1. 知っているし、実際に行ったことがある
2. 名前や場所は知っているが、行ったことはない
3. 知らない

問 20 問 17 で「選択肢 1」または「選択肢 2」のいずれか又は問 19 で「選択肢 1」または「選択肢 2」のいずれかに回答された方にお聞きします。あなたは、SPAC 及び舞台芸術公園にどのようなことを期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

1. SPACオリジナルの作品の公演
2. SPACによる海外での公演
3. 海外、国内のSPAC以外の劇団の招へい公演
4. 静岡県内各地でのSPAC作品の公演
5. SPACによる静岡県民の舞台芸術活動への支援（静岡県内の演劇団体等への講師派遣など）
6. SPAC及び舞台芸術公園の積極的な宣伝・広報
7. 舞台芸術公園内でのイベント・催事の拡充
8. 舞台芸術公園内の景観や自然散策路等の整備
9. その他（具体的に： _____）

◎「静岡県富士山世界遺産センター」についてお尋ねします。

静岡県富士山世界遺産センター（富士宮市宮町）

平成 29 年 12 月 23 日に開館した、世界遺産富士山を後世に守り伝えていくための拠点施設です。自然、歴史・文化など富士山を多角的に紹介しています。



静岡県富士山
世界遺産センター

問 23 すべての方にお聞きします。あなたは、静岡県富士山世界遺産センターに行った（利用した）ことがありますか。

1. ある → **問25** へ

2. ない → **問24** へ

問24 問23で「2. ない」と回答された方にお聞きします。静岡県富士山世界遺産センターに行った（利用した）ことがない主な理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

1. 静岡県富士山世界遺産センターの存在を知らなかった
2. 静岡県富士山世界遺産センターに興味・関心がない
3. 静岡県富士山世界遺産センターに興味・関心があり、いつかは行こうと考えている
4. 静岡県富士山世界遺産センターに興味・関心はあるが、自宅から行きにくい
5. その他（具体的に： _____）

問25 すべての方にお聞きします。あなたは、日常生活における文化・芸術に関する体験や活動を、どの程度大切だと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください。

1. 非常に大切である
2. ある程度大切である
3. どちらともいえない
4. あまり大切ではない
5. 全く大切ではない
6. わからない

問26 本県では、令和3年1月に「アーツカウンシルしずおか」を静岡県文化財団に設置しました。アーツカウンシルしずおかでは、まちづくりや観光、国際交流、福祉、教育、産業など、社会の様々な分野と、文化芸術の協働を促進し、地域資源の活用や社会課題に対応する県民主体の創造的な活動（アートプロジェクト）を支援しています。



アーツカウンシルしずおか
ARTS COUNCIL SHIZUOKA

ホームページ URL <https://artscouncil-shizuoka.jp/>

すべての方にお聞きします。アーツカウンシルしずおかは文化の持つ力を様々な場面で活かす取り組みを支援しています。次の中で、あなたが文化に期待するものは何ですか。当てはまるものすべてを選択してください。

1. 「心の豊かさ」 …豊かな感受性や充実感を得ることができる
2. 「創造性」 …新しい価値を生み出す創造力が育成される
3. 「自己表現」 …コミュニケーション能力が高められる
4. 「相互理解」 …多様な文化に触れることで柔軟な考え方が養われる
5. 「社会的包摂※」 …多様性を認め合い、全ての人が暮らしやすい社会となる
6. 「地域・社会の課題への対応」 …地域や社会にある様々な課題に対し、文化の持つ魅力を使って新しい解決の方法を探る
7. 「医療・福祉」 …健康の回復やリハビリなどで効果がある
8. 「観光産業」 …観光地としての魅力が向上し、賑わいが増える
9. 「新産業創出」 …知的な付加価値が大きい産業（商品デザイン、コンテンツ、ファッション等）の創出につながる
10. 「まちづくり」 …文化が住民の誇りとなり、地域活性化につながる
11. その他（ ）
12. 特に期待しない

※社会的包摂：障害のある方や外国人など、いかなる人も社会から隔離排除するのではなく、社会の中で共に助け合って生きていこうという考え方

静岡県 令和3年度文化に関する意識調査
調査結果報告書

発行年月 令和4年3月

発行 静岡県スポーツ・文化観光部 文化局 文化政策課
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
電話：054-221-3340